

# 福島県制度資金利子補給承認申請書等作成要領

(昭和60年2月25付け60農経第124号福島県農政部長通知)  
(最終改正 平成24年6月18日付け24農支第897号福島県農林水産部長通知)

## 第1章 総 則

### 第1 目 的

この要領は、福島県制度資金利子補給電算処理要領（昭和59年5月31日付59農経第421号福島県農政部長通知。以下「電算処理要領」という。）に規定する農業近代化資金利子補給（変更）承認申請書、農家経営安定資金利子補給（変更）承認申請書、農業近代化資金・農家経営安定資金貸付状況報告書、天災資金貸付状況報告書、特例移動報告書、制度資金不突合処理報告書、制度資金不突合調査報告書、農業近代化資金承認・融資条件管理入力票、農家経営安定資金承認・融資条件管理入力票、天災資金融資条件管理入力票、制度資金利子補給金等交付指令入力票、制度資金マスター項目修正入力票（以下「申請書等」という。）の作成について必要な事項を定めるものとする。

### 第2 共通注意事項

申請書等に記入する漢字、ひらがな文字、カタカナ文字、数字（以下「文字等」という。）は、次により正確、ていねいに記入すること。

#### (1) 漢字

漢字は「かい書」で記入すること。

#### (2) ひらがな文字、カタカナ文字

ひらがな文字及びカタカナ文字は原則として「現代かなづかい」により表示することとし、ひらがな文字については「い」と「り」、「わ」と「れ」、「ぬ」と「め」、「ろ」と「る」、「く」と「し」、カタカナ文字については「ク」と「ワ」、「コ」と「ユ」、「ツ」と「シ」、「ソ」と「リ」、「ヒ」と「セ」特に注意して記入すること。

なお、エ、ヰ、ヲは用いないこと。

#### (3) 数字

数字は次によることとし、「0」と「6」、「1」と「7」と「9」、「3」と「8」については特に注意して記入すること。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

コードは「制度資金コード表（以下「コード表」という。）に基づいて、全桁正確に記入すること。

文字等を記入する場合は行の下半分を使い、1桁に1字（漢字を除く。）を記入すること。

なお、訂正するときは当該文字等を二本線で抹消し、その上部に訂正後の文字等を記入すること。

「金額」欄は必ず右端桁が上欄に示された単位となるよう記入すること。

なお、該当のない桁は後述に指定のあるもののほか原則として記入しないこと。

申請書等の欄外の「 枚中 枚目」の欄は作成した申請書等の種類ごとに「 枚中」にはその総枚数を、「 枚目」にはその通し番号を記入すること。  
なお、申請書等が1部の場合であっても「1枚中1枚目」と記入すること。

申請書等のうち「融資機関担当者氏名」、「融資機関作成者印」、「融資機関点検者印」、「農林事務所担当者印」等の欄があるものについては、各々の機関があらかじめ担当する職員を定め、その者が記入又は押印すること。

申請書等の記入内容に誤りがあったり、提出を怠ったりすると電算処理に大きな支障を生じることとなるので記入、提出にあたっては細心の注意をすること。

申請書等の記入にあたっては、手書きの場合は黒のボールペン等を使用し、ワープロソフト等で作成する場合はプリンタ印字の際に不鮮明とならないよう留意すること。

ふくしま県市町村共同電子申請システム（県と市町村が共同で開発した電子情報処理組織（県の機関の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下同じ。）と申請をする者の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織をいう。）を使用するシステムをいう。以下「電子申請」という。）により申請を行う場合には、この要領において「記入」又は「記載」を「入力」に読み替え、「訂正」をする場合には「二重線抹消」は行わないこととし、訂正しようとする項目を「再入力」すること。

- 10 電子申請にあっては、電子申請の特性上、各様式の「押印」欄又は「 枚中枚目」等の欄は省略すること。また、電子申請上必須入力とされている項目はこの要綱に関わらず入力する必要があるので留意すること。

第2章 「利子補給（変更）承認申請書」

第1 農業近代化資金

農業近代化資金利子補給(変更)承認申請書は、農業近代化資金の申請をしようとする融資機関が作成すること。

1 新規申請の場合

農業近代化資金を新たに申請する場合の作成方法は、次のとおりである。

(1) 記入欄の指定

融資機関 コード	所在地 名称 代表者 氏名	融資機関申請の状況										※県の承認状況										所在地	名称	代表者 氏名	TEL ( ) -	印							
		申請日					申請番号	承認日					承認指令																				
		年	月	日	年	月		日	年	月	日	年	月	日	年	月	日																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34

貸付予定の相手方										貸付予定の内容																																													
法人 略称 コード	氏名 (カタカナ)										施設 コード	政令 コード	貸付予定金額 (千円)	貸付利率 (%)	利子補給率 (%)	償還 期間	うち 据置 期間	約定償還額 (千円)																																					
	毎回																	最終回																																					
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90

貸付関連事項										借受予定者の概要										既承認の状況 (変更承認申請 の場合のみ記入 すること)		県単上乘せ内容																														
用途 コード	融資対象 数量(頭羽㎡)										経営 形態 コード	経営規模					収入		支出			既有債務の状況					年度	既承認番号	区分 コード	期間 コード	県単上乘せ率																					
	耕地等面積					飼養頭羽数		農	農	農		農	家	そ	農林公庫資金	制度資金	プロパ資金	購買	未収金	その他																																
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143

セット資金内訳										
政令 コード	用途 コード	融資対象 数量(頭羽㎡)								貸付予定金額 (千円)

備考

(変更承認申請の場合は変更承認申請の事由を具体的に記入すること)

事業着手予定日

貸付予定日

融資機関担当者氏名

枚中 枚

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目のみを記入する欄

融資機関が選択記入する欄
  県の承認機関が必ず記入する欄

(2) 記入事項

新規申請の場合は、表題の「変更」を2本線で抹消すること。

ア 融資機関コード

コード表の「融資機関コード」により申請しようとする融資機関のコードを記入すること。

[例]

融資機関			
コード			
1	2	3	4
0	0	0	2

「新ふくしま農業協同組合」の場合

イ 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「0」を記入すること。

ウ 地方コード、市町村コード

- コード表の「地方コード」、「市町村コード」により次の区分で記入すること。
- ・ 市町村コード…融資対象事業地を管轄する市町村のコードを記入すること。
  - ・ 地方コード……上記市町村を管轄する県の農林事務所のコードを記入すること。

[例]

地方	市町村		
	コード		
6	7	8	9
1	2	0	1

「福島市」の場合

エ 制度コード

コード表の「制度コード」により「1」（農業近代化資金）を記入すること。

オ 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

カ 融資機関申請の状況

a 申請日、申請番号

申請日については、融資機関が県に対して申請する際の申請年月日（年については和暦とする。）を、申請番号については、当該融資機関の文書管理規程等で定める文書番号等を記入すること。  
 なお、申請日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。  
 また、申請番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

[例]

融資機関申請の状況													
申請日						申請番号							
年	月	日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
2	4	0	6	3	0	0	1	5	0				

申請日 平成24年6月30日  
 申請番号 第150号

} の場合

キ 県の承認状況

- a 承認機関コード  
コード表の「承認機関コード」により県の承認機関のコードを記入すること。
- b 承認日、承認指令番号  
承認日については、県の承認機関が承認した年月日(年については和暦とする。)を、承認指令番号については、福島県文書等管理規則(平成12年福島県規則第160号)第5条の2第1項第3号に定める文書番号を記入すること。  
なお、承認日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。  
また、承認指令番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

[例]

※ 県の承認状況												
承認機関コード	承認日						承認指令番号					
	年	月	日	番	号	番	号	番	号	番	号	
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
2	2	4	0	6	3	0	1	9	8	7	6	

承認機関 県中農林事務所 } の場合  
承認日 平成24年6月30日 }  
承認指令番号 第19876号 }

ク 貸付予定の相手方

- a 法人略称コード  
コード表の「法人略称コード」により個人、法人を問わず該当する略称コードがある場合に該当コードを記入すること。  
なお、該当する略称コードがない場合には空欄とすること。
- b 氏名(カタカナ)  
借入申込者の氏名又は名称を欄の上段には「漢字」でフルネームを、下段には「カタカナ文字」で記入すること。  
なお、カタカナ文字で記入する場合は、欄の左づめで濁点、半濁点は1桁とし、「氏」と「名」の間は、1桁あけて記入すること。  
また、オンライン農協(貸付部門が農協系統オンラインシステムに加入し、県がオンライン農協と指定した農業協同組合)にあつては、オンラインで使用している又は使用予定の氏名及び名称(カタカナ文字)と同一(当該氏名又は名称が15文字を超える場合は、左端から15文字に限る。)となるようにすること。

[例]

貸付予定の相手方																
法人略称コード	氏 名															
	(カタカナ)															
34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
0	1															
9	0															
2	2															

→(個人の場合)  
→(法人の場合)  
→(任意団体の場合)  
→(農協の場合)

ケ 貸付予定の内容

貸付予定の内容は、予定として記入することになるが、貸付実行の際、当該内容と異なることになると  
 利子補給変更承認申請(取消、新規申請を含む。)を行う必要が出てくるので借入申込書を慎重に審  
 査し、その内容により誤りのないように記入すること。

a 施設コード

コード表の「施設コード」により個人施設、共同利用施設の区分に応じたコードを記入すること。

b 政令コード

資金の区分に従い、コード表の「政令コード」により該当するコード(例えば1号資金のうち建構築  
 物は「01」)を記入すること。また、政令コードが2種類以上のものを同時に貸し付ける場合(以下「セ  
 ット資金」という。)は「08」を記入すること。

c 貸付予定金額

融資機関が貸付を予定している金額を千円単位で記入すること。  
 なお、該当のない桁は空欄にすること。

[例] 

貸付予定金額 (千円)					
55	56	57	58	59	60
			1	3	50

 「貸付予定金額1,350千円」の場合

d 貸付利率

融資機関が貸付を予定している貸付利率を年%で記入すること。  
 なお、該当のない桁のうち「.」未満の部分については「0」を記入し、「.」以上の部分については空  
 欄にすること。

[例] 

貸付利率 (%)				
62	63	64	65	66
		1	7	00

 「貸付利率 年1.7%」の場合

e 利子補給率

融資機関が県に求める利子補給率を年%で記入すること。(福島県農業近代化資金利子補給要  
 綱第2条の別表に定める利子補給率をいう。)

[例] 

利子補給率 (%)				
67	68	69	70	71
		1	2	500

 「利子補給率 年1.25%」の場合

f 償還期間及び据置期間

「償還期間」欄は、融資機関が予定している償還期間年数を記入すること。  
 「据置期間」欄は、償還期間のうち元金償還を据置く期間年数を記入すること。

--	--

[例]

償還期間	うち据置期間	
72	73	74 75
1	0	2

「償還期間 10年 うち据置期間 2年」の場合

e 約定償還額

計画による償還年額を「毎回」と「最終回」に分けて、次の償還額の算出方法により千円単位で記入すること。

- ・ 毎回償還額 = 貸付予定金額 ÷ (※) 償還回数 (千円未満切捨て)  
 ※ (償還期間年数 - 据置期間年数)
- ・ 最終回償還額 = 貸付予定金額 - {毎回償還額 × (償還回数 - 1)}

なお、該当のない桁は空欄にすること。

また、貸付金を一括償還する場合は、「毎回」欄に「0」(右づめ1桁)を記入のうえ、「最終回」欄に貸付金額に相当する一括償還額を記入すること。この場合、据置期間終了後に一括で償還する方法しか認められないため、償還期間及び据置期間の欄の記入内容が次のように制限される。

- ・ 据置期間は法定の据置期間以内。
- ・ 償還期間は、据置期間 + 1

[例]

約 定 償 還 額 (千円)																貸付予定額1,350千円	} の場合
毎 回								最 終 回								償還期間 10年	
76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	据置期間 2年			
						1	6	8						1	7	4	

毎回償還額 = 1,350千円 ÷ 8回 = 168,750円  
 = 168千円 (千円未満切り捨て)  
 最終回償還額 = 1,350千円 - {168千円 × (8 - 1)}  
 = 174千円

コ 貸付関連事項

a 使途コード

資金の使途をコード表の「使途コード」により記入すること。

2種類以上のものを同時に貸付けるセット資金の場合は空欄とし、下段のセット資金内訳欄の使途コード欄に記入すること。

[例]

使 途	
コード	「農舎」の場合
90	91 92
1	0

b 融資対象

① 部門コード

コード表の「融資対象部門コード」により分類すること。

② 数量(頭羽数㎡)

次の例により事業量を記入すること。

- ・ 面積を㎡単位で記入するもの・農舎、畜舎、温室等施設、果樹、花き、花木植栽・育成、小土地改良等
  - ・ 長さをm単位で記入するもの・農業用索道、かんがい用配管等
  - ・ 台数を記入するもの ……………トラクター、田植機、コンバイン等農機具
  - ・ 頭数を記入するもの …………… 乳牛、繁殖用肉牛、繁殖豚、肥育牛等家畜
  - ・ 羽数で記入するもの …………… 採卵鶏、肉用鶏等
- セット資金の場合、①、②とも空欄とし、下段セット資金内訳欄に記入すること。

[例]

貸付関連事項																
使途 コード	融資対象								財 源 コ ド	補 助 金 コ ド	債 務 保 証 コ ド	限 度 特 認 コ ド				
	部 門 コ ド	数量(頭羽㎡)														
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104		
1	1	3	1							2	0	1	1	5	1	6

ライスセンターの場合

- ・ 補助 市町村(財源 国・県)
- ・ 面積 200㎡      ・承認限度 25,000万円
- ・ 財源 自己資金      ・債務保証の希望 有

c 財源コード

コード表の「財源コード」により貸付金の財源について自己資金、転貸の状況を記入すること。

[例]

財 源 コ ド
1
100
101
1
1

単協が自己資金で貸付する場合

d 補助金コード

コード表の「補助金コード」により融資予定事業に対する補助金の有無、補助金のある場合は、補助金の負担の内容を記入すること。

[例]

補 助 金 コ ド
1
102
2

「県単独補助事業」の場合

e 債務保証コード

コード表の「債務保証コード」により福島県農業信用基金協会の債務保証の希望の有無について記入すること。

f 限度特認コード

コード表の「限度特認コード」により農業近代化資金の貸付金の合計額(申込に係る貸付予定金額を含む。)に該当するコードを記入すること。

[例]

限 度 特 認 コ ド
個人

既 貸 付 残	30,000千円
今 回 貸 付 予 定 額	15,000千円



<table border="1"> <tr><td style="text-align: center;">104</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table>	104	4	合 計 45,000千円	の場合
104				
4				

#### サ 借受予定者の概要

この欄については、施設コードが「11」、「15」に分類されたもののみ全桁記入すること。（「11」、「15」以外は、全桁記入しないこと。）

##### a 経営形態コード

コード表の「経営形態コード」により該当するコードを記入すること。

なお、この場合の「単一経営」とは農産物販売金額の1位部門の販売金額が総販売金額の6割以上を占めるものをいい、「複合経営」とは6割未満のものをいう。

##### b 耕地等面積コード

コード表の「耕地等面積コード」により耕地等の種類ごとに記入すること。

なお、この場合、自作地、小作地を問わず実際の経営に参加する耕地等の合計面積についてコード区分により記入すること。

##### c 飼養頭羽数コード

コード表の「家畜飼養頭羽数コード」により実際に飼養している家畜のうち主たる家畜の頭羽数等について該当するコードを記入すること。

なお、この場合の区分については次の点に注意すること。

- ・「乳用牛」、「肉用牛」の区分は目的主義によるため、搾乳を目的としている牛と将来搾乳牛に仕立てる目的で飼養している牛を乳用牛とし、乳用種であっても肉用目的に肥育しているものは肉用牛とすること。  
ただし、搾乳の経験のある牛を肉用に肥育中のもの（例えば老廃牛の肥育）は乳用牛とすること。
- ・「乳用牛」の「成畜」、「子畜」の区分は、成畜＝2歳以上、子畜＝2歳未満をいう。
- ・「肥育豚」とは、自家で肥育し肉用として販売することを目的としている豚で、6か月未満のものうちもと豚として販売するものは含めないこと。
- ・「成鶏」とは、月齢が6か月以上の鶏をいう。したがって産卵があっても6か月未満は含めないこと。

##### d 収支の状況

コード表の「金額コード」により借入する年度の収入・支出見込金額について、農家経営基礎台帳を基に該当するコードを記入すること。

なお、農外収入・支出金額については、恒常的に一定の収入・支出が見込まれる場合のみ記入すること。

##### e 既有負債の状況

コード表の「金額コード」により承認申請時の既有負債の借入金残高について、該当するコードを記入すること。

なお、「制度資金」とは、国又は地方公共団体から利子補給を受けている資金、当該資金の原資を国又は地方公共団体が負担している資金をいう。

また、「プロパー資金」とは、貸付しようとする融資機関が原資を負担している資金をいう。

[例]	「経営形態」… 酪農
-----	------------

「経営規模」…

{	田	1.3ha	{	普通畑	0.2ha
	畑	6.2ha		果樹園	なし
				桑園	なし
山林	3.5ha	牧草地	6.0ha		

「家畜飼養頭羽数」… 乳用牛(成畜頭数)30頭

「収支の状況」……

{	収入	農業	30,240千円
		農外	0
{	支出	農業	18,340千円
		農外	0
{		家計費	3,300千円
		その他	0

※「支出」額からは、減価償却費及び支払利息を除くものとする。

「既有負債の状況」… 借入金残高

{	農林公庫資金	3,890千円
	制度資金	1,800千円
	プロパー資金	840千円
	購買未収金	610千円
	その他	0

)の場合

借 受 予 定 者 の 概 要																	既承認の状況 (変更承認申請 の場合のみ記入 すること)												
経営 形態	経営規模						収 入			支 出			既有負債の状況					年度	既承認番号										
	耕地等面積					飼 養 頭 羽 数	農 業	農 外	そ の 他	農 業	農 外	家 計 の 他	農 林 公 庫 資 金	制 度 資 金	プ ロ パ ー 資 金	購 買 未 収 金	そ の 他												
コード	田	普 通 畑	果 樹 園	桑 園	そ の 他													牧 草 地	山 林	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121
	0	8	4	1	0	0	0	9	8	1	7	9	0	0	8	0	6	0	6	4	2	2	0						

なお、農家経営基礎台帳の支出の欄には農外支出について記載がないので、生活費を記載する欄に( )外書きで記載すること。

シ 既承認の状況

新規申請の場合、この欄は空欄とすること。

ス 県単上乗せ内容

a 県単上乗せ資金に該当する場合は、次により記入すること。

- ・ 区分コードは、コード表の「県単上乗せ区分コード」により該当するコードを記入する。
- ・ 期間コードは、上乗せする期間(年数)を記入する。(認定農業者特別支援資金は近代化資金の借入期間全期間、新規就農者支援資金は同借入期間又は上乗せの最長である「05」となる。)
- ・ 県単上乗せ率は、該当する区分コードの上乗せ率を記入すること。

[例]

県単上乗せ内容		
区分	期間	

コード		県単上乗せ率						
134	135	136	137	138	139	140	141	142
0	9	0	7	0	6	2	5	0

「認定農業者特別支援資金」(コード「09」)

農業近代化資金の借入期間 7年  
上乗せ率 0.625%

} の場合

県単上乗せコード「09」の場合、

資金コードは「31(認定農業者の特例(一般))  
「41(認定農業者の特例(土地改良))」 } のいずれか、

施設コードは「15(個人施設・認定農業者・農業を営む者)  
「16( " " 協業(農業を営む農事組合法人))  
「17( " " (農業を営む上記以外の法人))」 } の

いずれかとの組み合わせになることに留意すること。

b 県単上乗せ資金に該当しない場合は、全桁「0」を記入すること。

### セ セット資金の内訳

貸付予定の内容欄の政令コードが「08」の場合は、必ず記入すること。セット資金の内訳を資金の用途により記入すること。

[例]

政令コード	貸付予定金額 (千円)							
53	54	55	56	57	58	59	60	61
0	8				3	2	0	0

貸付予定額 [ ビニールハウス 99㎡ 3,000千円 ]  
[ 暖房機 1台 200千円 ]

の場合

セ ッ ト 資 金 内 訳								
政令コード	用途コード	融 資 対 象		貸付予定金額 (千円)				
		数量(頭羽)	㎡					
01	1049		99		3	0	0	0
02	2579		1			2	0	0

## 2 変更申請の場合

農業近代化資金の利子補給承認の内容を変更申請する場合の作成方法は次のとおりである。

なお、当該手続きで貸付実行後に変更申請が可能である項目は次のものに限定され、それ以外の項目の変更を必要とする場合には、後述の「3 取消申請の場合」と前述の「1 新規申請の場合」の手続きを同時に行うことが必要となるので注意すること。(貸付実行前であれば、全ての項目の変更を行うことができる。)





b 償還期間、据置期間の変更については、変更申請日以後の償還期間、据置期間を記入すること。

カ 既承認の状況

新規申請に基づき承認された際に付された年度(和暦とする。)、承認番号(「利子補給承認書」又は「借受者別台帳」を参照)を記入すること。

[例]

既承認の状況 (変更承認申請の場合のみ記入すること)				
年度		既承認番号		
128	129	130	131	132
133				
1	6	1	0	3
		5		

新規申請時  
承認年度 平成16年度  
承認番号 「1035」

} の場合

承認番号が「借受者別台帳」で「000」と表示されている場合は、「既承認の状況」の欄外に「支店・支所コード」「貸付コード」及び「サブロ番」を記入すること。  
なお、第2回目以降の変更申請についても同じ取扱いとする。

[例]

既承認の状況 (変更承認申請の場合のみ記入すること)				
年度		既承認番号		
128	129	130	131	132
133				
1	6	(空欄)		

借受者別台帳の承認番号欄が「0000」  
支店・支所コード 00  
借受者コード 12345678  
サブロ番 001

} の場合

(欄外に表示) 00-12346578-001

キ 県単上乘せ内容

変更申請の場合、変更しようとする項目だけでなく全ての項目について、新規申請の例に基づき変更後の数値を記入すること。(県単上乘せ内容を取消す場合には、全項目に「0」を記入すればよい。)

ク 備考

この欄に変更を必要とする事由等(変更の事由、変更の内容、貸付の状況等)を、次の例により具体的に記入すること。

[例1] 貸付実行前に事業費減による変更があった場合

備 考					
(変更承認申請の場合は変更承認申請の事由を具体的に記入すること)					
1. 事 由 事業費減による変更					
2. 変更内容 貸付予定額、償還方法の変更 (単位:千円)					
	事業費	補助金	貸付予定額	毎 回	最 終 回
変更前	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇 〇 〇
変更後	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇 〇 〇

[例2] 現在の融資残高について償還方法を変更する場合

備 考					
(変更承認申請の場合は変更承認申請の事由を具体的に記入すること)					
1. 事 由 事業費の減に伴い特別償還額を変更する。					
2. 変更内容 貸付予定額、償還方法の変更 (単位:千円)					
	事業費	補助金	融資残高	毎 回	最 終 回
変更前	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇 〇 〇
変更後	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇 〇 〇
3. 貸付の状況					
(1)貸付実行日 〇〇年〇〇月〇〇日					
(2)貸 付 額 〇〇〇千円					
(3)特別償還 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇千円					
(4)償還期間 〇〇年12月～〇〇年12月					

3 取消申告の場合

農業近代化資金の利子補給承認を取消申請する場合の作成方法は次のとおりである。

(1) 記入欄の指定

融資機関 コード	所在地 市町村 コード	制度 コード	融資機関申請の状況														※県の承認状況										融 資 機 関	所在地 名 称	代表者 氏 名	TEL ( )			
			申 請 日						申請番号	承認日	承認指令 番 号																						
			年	月	日	年	月	日																									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34

貸 付 予 定 の 相 手 方											貸 付 予 定 の 内 容																																												
法人 略称 コード	氏 名 (カタカナ)										施設 コード	政令 コード	貸付予定金額 (千円)	貸付利率 (%)	利子補給率 (%)	償 還 期 間	う ち 据 置 期 間	約 定 償 還 額 (千円)																																					
	毎 回																	最 終 回																																					
35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90

( 記 入 不 要 )													
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

貸付関連事項										借受予定者の概要										既承認の状況 (変更承認申請の場合のみ記入すること)				県単上乘せ内容																												
用途 コード	融資対象		財 源 コード	補 助 種 別 コード	経 営 形 態 コード	経営規模					収 入		支 出			既有負債の状況				年度	既承認番号	区分 コード	期間 コード	県単上乘せ率																												
	数量(頭羽m <sup>2</sup> )	数量(頭羽m <sup>2</sup> )				耕地等面積	飼養頭羽数	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他	農 業 外 他																																	
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143
( 記 入 不 要 )														( 記 入 不 要 )				( 記 入 不 要 )				( 記 入 不 要 )																														

セ ッ ト 資 金 内 訳				
政令 コード	用途 コード	融 資 対 象		貸付予定金額 (千円)
		数量(頭羽m <sup>2</sup> )	数量(頭羽m <sup>2</sup> )	
( 記 入 不 要 )				

備 考	
(変更承認申請の場合は変更承認申請の事由を具体的に記入すること)	

事業着工 予定日	
貸 付 予定日	
融資機関 担当者氏 名	
枚 中	枚

 融資機関が必ず記入する欄  
 県(承認機関)が記入する欄

(2) 記入事項

ア 融資機関コード、地方コード、市町村コード、制度コード、資金コード

新規申請時に記入したコードを記入すること。

イ 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「9」を記入すること。

ウ 融資機関申請の状況

申請日については、融資機関が県に対して取消申請する際の申請年月日(年については和暦とする。)を、申請番号については、当該融資機関の文書管理規程等で定める文書番号等(融資機関に特に定めがある場合を除き、新規申請の申請番号と異なる取消申請時の申請番号を新たに付することを原則とする。)を記入すること。

なお、申請日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

また、申請番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

エ 県の承認状況

a 承認機関コード

コード表の「承認機関コード」により取消承認した県の機関のコードを記入すること。

b 承認日、承認指令番号



承認日については、県の承認機関が取消承認した年月日(年については和暦とする。)を、承認指令番号については、福島県文書等管理規則(平成12年福島県規則第160号)第5条の2第1項第3号に定める文書番号を記入すること。

なお、当該文書番号は、電算処理、事務処理の合理性に鑑み、新規申請時の文書番号の継続使用をせず新たに文書番号を付し、当該番号を記入すること。

また、承認日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

承認番号は4桁とし、該当のない桁には「0」をつけて4桁とすること。

オ 貸付予定の相手方、貸付予定の内容、貸付関連事項、借受予定者の概要、セット資金内訳

取消申請の場合、この欄は空欄とすること。

カ 既承認の状況

新規申請に基づき承認された際に付された年度(和暦とする。)、承認番号(「利子補給承認書」又は「借受者別台帳」を参照)を記入すること。

[例]	既承認の状況 (変更承認申請の場合のみ記入すること)				新規承認時の 「承認年度」 平成16年度 「承認番号」 1011 } の場合	
	年度	既承認番号				
	128	129	130	131		132
	1	6	1	0	1	1

キ 備考

取消承認申請の場合、取消を必要とする事由を具体的に記入すること。

第2 農家経営安定資金

農家経営安定資金利子補給(変更)承認申請書は、農家経営安定資金の申請をしようとする融資機関が作成すること。

1 新規申請の場合

農家経営安定資金を新たに申請する場合の作成方法は次のとおりである。

(1) 記入欄の指定

融資機関 コード	入方区分 コード	地方 コード	市町村 コード	農林漁業 コード	制度 コード	資金 コード	災害コード	融資機関申請の状況																				※ 県の承認状況											
								申請日			申請番号	承認日	承認 指合番号																										
								年	月	日																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

融 資 機 関	所在地	田
	名称	
	代表者 氏名	
TEL ( ) -		

個人・法人 コード	貸付予定の相手方																		貸付予定の内容																		債務保証 コード																	
	氏 フリガナ	貸付予定日			貸付予定 金額 (千円)	貸利 付率 (%)	償還期間		約定 償還 月	約 定 償 還 額 (千円)																																												
		年	月	日			初年	終年		毎 回	最終回																																											
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95

1

経営形態 コード	借受予定者の概要																		既承認の 状況 変更承認申 請の場合のみ 記入すること。	備考 変更承認申 請の場合は変 更承認申請の 事由を具体的に 記入すること。								
	経 営 規 模			収支の状況						既有負債の状況																		
	耕地等面積コード			収入			支出			農 林 公 庫 資 金	制 度 資 金	プ ロ バ イ 資 金	購 買 未 収 金	そ の 他	年 度	既 承 認 番 号												
	畑	山	林	農	農	そ の 他	農	農	家 計 外 費 他																			
96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124
記入不要																												

融資機関が必ず記入する欄

融資機関が該当する項目を記入する欄

県の承認機関が必ず記入する欄

(2) 記入事項

新規申請の場合は、表題の「変更」を2本線で抹消すること。

## ア 融資機関コード

コード表の「融資機関コード」により申請しようとする融資機関のコードを記入すること。

[例]	融資機関 コード	「郡山市農業協同組合」の場合		
	1	2	3	4
	0	2	0	1

## イ 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「0」を記入すること。

## ウ 地方コード、市町村コード

コード表の「地方コード」、「市町村コード」により次の区分で記入すること。

- ・ 市町村コード…個人の場合は借入申込者の住所地の市町村、法人の場合は主たる事務所の所在する市町村のコードを記入すること。
- ・ 地方コード……上記市町村を管轄する県の農林事務所のコードを記入すること。

[例]	地方 コード	市町村 コード	「福島市」の場合	
	6	7	8	9
	1	2	0	1

## エ 農林漁業コード

コード表の「農林漁業コード」により借入申込者の主たる業務のコードを記入すること。

## オ 制度コード

コード表の「制度コード」により「2」（農家経営安定資金）を記入すること。

## カ 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

## キ 災害コード

小災害資金（資金コード「11」）の場合のみ、コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。  
なお、当該コードは、既往の融資分のみであり、将来の災害に対しては災害が生じ資金の対応が決定された場合に県がその都度定めることになっているので、県の承認機関の指示に従うこと。また、県がコード化する際の基本的な考え方は次のとおりである。

（災害コード）

- ・ 災害の種類区分（コードの右端の数字）は、次のとおり。

2	4	0	4	4
}		}		∴
災	災	災		
害	害	害		
発	発	の		
生	生	種		
年	月	類		

雪……………	1
霜……………	2
ひょう ……	3
風……………	4
雨……………	5
風雨…………	6
干ばつ………	7
低温…………	8
地震…………	9
その他………	0

[例]

災害 コード				
14	15	16	17	18
2	4	0	4	4

「平成24年4月の暴風」の場合

ク 融資機関申請の状況

a 申請日、申請番号

申請日については、融資機関が県に対して申請する際の申請年月日(年については和暦とする。)を、申請番号については、当該融資機関の文書管理規程等で定める文書番号等を記入すること。  
 なお、申請日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。  
 また、申請番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

[例]

融資機関申請の状況												
申請日						申請番号						
年	月	日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
2	4	0	6	3	0	0	3	6	4			

申請日 平成24年6月30日 } の場合  
 申請番号 第364号

ケ 県の承認状況

a 承認機関コード

コード表の「承認機関コード」により県の承認機関のコードを記入すること。

b 承認日、承認指令番号

承認日については、県の承認機関が承認した年月日(年については和暦とする。)を、承認指令番号については、福島県文書等管理規則(平成12年福島県規則第160号)第5条の2第1項第3号に定める文書番号を記入すること。

なお、承認日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

また、承認指令番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

[例]

※ 県の承認状況	承認機関	県中農林事務所
----------	------	---------

承認機関コード	承認日					承認指令番号						
	年	月	日									
	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
	2	2	4	0	6	3	0	2	1	2	3	4

承認日      平成24年6月30日      の場合

承認指令番号      第21234号

コ 貸付予定の相手方

a 個人・法人コード

コード表の「個人・法人コード」により借入申込者の組織区分のコードを記入すること。  
 なお、「個人」とは「農家経営安定資金の融通を図るための利子補給要綱」(昭和50年5月16日付け50農経第152号、以下「要綱」という。)第2条第2項第1号及び第3項に掲げるものをいい、「法人」とは要綱第2条第2項第2号に掲げるものをいう。

b 法人略称コード

コード表の「法人略称コード」により個人、法人を問わず該当する略称コードがある場合に該当コードを記入すること。  
 なお、該当する略称コードがない場合には空欄とすること。

c 氏名(フリガナ)

借入申込者の氏名又は名称を欄の上段には「漢字」でフルネームを、下段には「カタカナ文字」で記入すること。  
 なお、カタカナ文字で記入する場合は、欄の左づめとし、濁点、半濁点は1桁とし、「氏」と「名」の間は、1桁あけて記入すること。  
 また、オンライン農協(貸付部門が農協系統オンラインシステムに加入し、県がオンライン農協と指定した農業協同組合)にあつては、オンラインで使用している又は使用予定の氏名及び名称(カタカナ文字)と同一(当該氏名又は名称が15文字を超える場合は、左端から15文字に限る。)となるようにすること。

[例]

個人・法人コード		貸付予定の相手方															
		氏 (フリガナ) 名															
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
1		馬場 明															
		ハバタ アキラ															
2	0	(有)山田農園															
		ヤマタ ノウエン															
2	9	赤沢菜組合															
		アカサ ワソサイ															

→(個人の場合)

→(法人の場合)

→(任意団体の場合)

サ 貸付予定の内容

貸付予定の内容は、予定として記入することになるが、貸付実行の際、当該内容と異なることになると利子補給変更承認申請(取消、新規申請を含む。)を行う必要が出てくるので借入申込書を慎重に審査し、その内容により誤りのないように記入すること。

a 貸付予定日

融資機関が貸付を予定している年月日(年については和暦とする。)を記入すること。  
 なお、貸付予定日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけそれぞれ2桁となるようにすること。  
 また、貸付予定日の設定にあたっては借入申込者と十分協議して事務的に無理のない日を選ぶこととし、いたずらに変更することのないよう十分に注意すること。



この欄については、借受予定者が個人(「個人・法人コード」1)の場合のみについて全桁記入すること。

a 経営形態コード

コード表の「経営形態コード」により該当するコードを記入すること。

なお、この場合の「単一経営」とは農産物販売金額の1位部門の販売金額が総販売金額の6割以上を占めるものをいい、「複合経営」とは6割未満のものをいう。

b 耕地等面積コード

コード表の「耕地等面積コード」により耕地等の種類ごとに記入すること。

なお、この場合、自作地、小作地を問わず実際の経営に参与する耕地等の合計面積についてコード区分により記入すること。

c 飼養頭羽数コード

コード表の「家畜飼養頭羽数コード」により実際に飼養している家畜のうち主たる家畜の頭羽数等について該当するコードを記入すること。

なお、この場合の区分については次の点に注意すること。

- ・「乳用牛」、「肉用牛」の区分は目的主義によるため、搾乳を目的としている牛と将来搾乳牛に仕立てる目的で飼養している牛を乳用牛とし、乳用種であっても肉用目的に肥育しているものは肉用牛とすること。  
ただし、搾乳の経験のある牛を肉用に肥育中のもの(例えば老廃牛の肥育)は乳用牛とすること。
- ・「乳用牛」の「成畜」、「子畜」の区分は、成畜＝2歳以上、子畜＝2歳未満をいう。
- ・「肥育豚」とは、自家で肥育し肉用として販売することを目的としている豚で、6か月未満のもののもとも豚として販売するものは含めないこと。
- ・「成鶏」とは、月齢が6か月以上の鶏をいう。したがって産卵があっても6か月未満は含めないこと。

d 収支の状況

コード表の「金額コード」により借入する年度の収入・支出見込金額について、農家経営基礎台帳を基に該当するコードを記入すること。

なお、農外収入・支出金額については、恒常的に一定の収入・支出が見込まれる場合のみ記入すること。

e 既有負債の状況

コード表の「金額コード」により承認申請時の既有負債の借入金残高について、該当するコードを記入すること。

なお、「制度資金」とは、国又は地方公共団体から利子補給を受けている資金、当該資金の原資を国又は地方公共団体が負担している資金をいう。

また、「プロパー資金」とは、貸付しようとする融資機関が原資を負担している資金をいう。

[例]

「経営形態」… 酪農

「経営規模」…

- 田 1.3ha
- 畑 6.2ha
  - 普通畑 0.2ha
  - 果樹園 なし
  - 桑園 なし
  - 牧草地 6.0ha
- 山林 3.5ha

「家畜飼養頭羽数」… 乳用牛(成畜頭数) 30頭

「収支の状況」……

収入

- 農業 30,240千円
- 農外 0
- その他 0

支出

- 農業 18,340千円
- 農外 0
- 家計費 3,300千円
- その他 0

※「支出」額からは、減価償却費及び支払利息を除くものとする。

「既有負債の状況」…

借入金残高

- 農林公庫資金 3,890千円
- 制度資金 1,800千円
- プロパー資金 840千円
- 購買未収金 610千円
- その他 0

の場合

経営形態コード	借受予定者の概要																						
	経営規模						収支の状況					既有負債の状況											
	耕地等面積コード						収入		支出			農林公庫資金	プロパー資金	購買未収金	その他								
	田	畑			山林	飼養頭羽数コード	農業	農外	その他	農業	農外	家計費	その他	制度資金	プロパー資金	購買未収金	その他						
普通畑		果樹園	桑園	牧草地																			
95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	
	0	8	4	1	0	0	0	9	8	1	7	9	0	0	8	0	6	0	6	4	2	2	0

ス 既承認の状況  
新規申請の場合、この欄は空欄とすること。

## 2 変更申請の場合

農家経営安定資金の利子補給承認の内容を変更申請する場合の作成方法は次のとおりである。  
なお、当該手続きで貸付実行後に変更申請が可能である項目は次のものに限定され、それ以外の項目の変更を必要とする場合には、後述の「3 取消申請の場合」と前述の「1 新規申請の場合」の手続きを同時に行うことが必要となるので注意すること。

### ◎ 貸付実行後に変更申請で変更可能な項目

#### (ア) 貸付予定の相手方

・個人・法人コード                      ・法人略称コード                      ・氏名(フリガナ)

#### (イ) 貸付予定の内容

・貸付利率                                      ・償還期間                                      ・約定償還月  
・約定償還額の毎回と最終回              ・債務保証コード

#### (ウ) 借受予定者の概要



- ・経営形態コード
  - ・経営規模
  - ・収支の状況
  - ・既有負債の状況
- ※ 貸付予定日・貸付予定金額については、貸付実行前のみ変更可能。

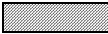

(1) 記入欄の指定



融資機関コード	入力区分コード	地方コード	市町村コード	農林漁業コード	制度コード	資金コード	災害コード	融資機関申請の状況																				※ 県の承認状況											
								申請日			申請番号	承認日	承認指令番号																										
								年	月	日																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

融資機関	所在地	目
	名称	
	代表者氏名 TEL ( ) -	

貸付予定の相手方																		貸付予定の内容																																				
個人・法人コード	法人略称コード	氏フリガナ名																貸付予定日			貸付予定金額(千円)	貸付利率(%)	償還期間		約定償還月	約定償還額(千円)		債務保証コード																										
		年	月	日	初年	終年	毎回	最終回																																														
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
																		(変更項目のみ記入のこと)																																				

借受予定者の概要																		既承認の状況 変更承認申請の場合のみ記入すること。	備考 変更承認申請の場合は変更承認申請の事由を具体的に記入すること。									
経営形態コード	経営規模			収支の状況				既有負債の状況				年度	既承認番号															
	耕地等面積コード		飼養頭数	収入		支出		農林公庫資金		購入未収金																		
	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123
																		(変更項目のみ記入のこと)										

 融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が変更しようとする項目のみを記入する欄

 融資機関が該当する項目を記入する欄
  県(承認機関)が記入する欄

(2) 記入事項

- ア 融資機関コード、地方コード、市町村コード、農林漁業コード、制度コード、資金コード、災害コード  
新規申請時に記入したコードを記入すること。
- イ 入力区分コード  
コード表の「入力区分コード」により該当するコード「1」を記入すること。
- ウ 融資機関申請の状況  
申請日については、融資機関が県に対して変更申請する際の申請年月日(年については和暦とする。)

を、申請番号については、当該融資機関の文書管理規程等で定める文書番号等(融資機関に特に定めがある場合を除き、新規申請時の申請番号と異なる変更申請時の申請番号を新たに付することを原則とする。)を記入すること。

なお、申請日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけそれぞれ2桁となるようにすること。

また、申請番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

エ 県の承認状況

a 承認機関コード

コード表の「承認機関コード」により変更承認した県の機関のコードを記入すること。

b 承認日、承認指令番号

承認日については、県の承認機関が変更承認した年月日(年については和暦とする。)を、承認指令番号については、福島県文書等管理規則(平成12年福島県規則第160号)第5条の2第1項第3号に定める文書番号を記入すること。

なお、当該文書番号は、利子補給変更承認事務が資金の償還期間中長きにわたり発生することが考えられるため、電算処理、事務処理の合理性に鑑み、新規申請時の文書番号の継続使用をせず新たに文書番号を付し、当該番号を記入すること。

また、承認日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけそれぞれ2桁となるようにすること。

承認指令番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

オ 貸付予定の相手方、貸付予定の内容、借受予定者の概要

変更申請の場合、この欄は変更しようとする項目のみを新規申請の例に基づき変更後の数値を次の点に注意して記入すること。

なお、貸付予定日又は貸付予定金額の変更申請は、貸付実行日以前のものに限って可能である。

- a 1項目が変更されたことに伴い、他の項目も変更されることがある(例えば、償還期間の短縮変更に伴う約定償還額の変更等)ので、それらは一連の変更として記入すること。
- b 約定償還月が変更されない場合であっても償還期間が変更される場合には、「据置期間」欄と「約定償還月」をセットで記入すること。
- c 償還期間を変更する場合には、「初年」欄及び「終年」欄に変更時における「次回償還年」及び「最終回償還年」を記入すること。

カ 既承認の状況

新規申請に基づき承認された際に付された年度(和暦とする。)、承認番号(「利子補給承認書」又は「借受者別台帳」を参照)を記入すること。

[例]

既承認の状況 (変更承認申請の場合のみ記入すること)					
年度	既承認番号				
118	119	120	121	122	123
1	6	3	0	2	1

新規申請時

承認年度 平成16年度

承認番号 「3021」

】

の場合

キ 備考

この欄に変更を必要とする事由等(変更の事由、変更の内容、貸付の状況等)を、具体的に記入すること。

3 取消申告の場合

農家経営安定資金の利子補給承認を取消申請する場合の作成方法は次のとおりである。

(1) 記入欄の指定

融資機関コード	入力区分コード	地方コード	市町村コード	農林漁業コード	制度コード	資金コード	災害コード	融資機関申請の状況										※ 県の承認状況																					
								申請日			申請番号	承認日			承認 指令番号																								
								年	月	日		年	月	日																									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

融資機関	所在地	田
	名称	
	代表者氏名 TEL ( ) -	

個人・法人コード	個人・法人略称コード	氏名 (フリガナ)	貸付予定日 年 月 日	貸付予定金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間 初年 終年		約定償還月	約定償還額 (千円)		債務保証コード																																											
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
← ( ) 記入不要 →																																																						

経営形態コード	経営規模	収支の状況	既負債の状況	既承認の状況 変更承認申請のみ記入すること。	備考 変更承認申請の場合は変更承認申請の事由を具体的に記入すること。																							
96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124
← ( ) 記入不要 →																												

融資機関が必ず記入する欄	融資機関が該当する項目を記入する欄
県の承認機関が必ず記入する欄	

(2) 記入事項

ア 融資機関コード、地方コード、市町村コード、農林漁業コード、制度コード、資金コード、災害コード

新規申請時に記入したコードを記入すること。

イ 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「9」を記入すること。

ウ 融資機関申請の状況

申請日については、融資機関が県に対して取消申請する際の申請年月日(年については和暦とする。)

を、申請番号については、当該融資機関の文書管理規程等で定める文書番号等（融資機関に特に定めがある場合を除き、新規申請時の申請番号と異なる取消申請時の申請番号を新たに付することを原則とする。）を記入すること。

なお、申請日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

また、申請番号は4桁とし、該当のない桁には「0」を記入すること。

エ 県の承認状況

a 承認機関コード

コード表の「承認機関コード」により取消承認した県の機関のコードを記入すること。

b 承認日、承認指令番号

承認日については、県の承認機関が取消承認した年月日（年については和暦とする。）を、承認指令番号については、福島県文書等管理規則（平成12年福島県規則第160号）第5条の2第1項第3号に定める文書番号を記入すること。

なお、当該文書番号は、電算処理、事務処理の合理性に鑑み、新規申請時の文書番号の継続使用をせず新たに文書番号を付し、当該番号を記入すること。

また、承認日は年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

承認番号は4桁とし、該当のない桁には「0」をつけて4桁とすること。

オ 貸付予定の相手方、貸付予定の内容、借受予定者の概要

取消申請の場合、この欄は空欄とすること。

カ 既承認の状況

新規申請に基づき承認された際に付された年度（和暦とする。）、承認番号（「利子補給承認書」又は「借受者別台帳」を参照）を記入すること。

[例]

既承認の状況 (変更承認申請の場合のみ記入すること)				
年度	既承認番号			
128	129	130	131	132 133
1	6	3	0	2 1

新規承認時の

「承認年度」      平成16年度

「承認番号」      3021

}      の場合

キ 備考

取消承認申請の場合、取消を必要とする事由を具体的に記入すること。

### 第3章 「貸付状況報告書」

#### 第1 農業近代化資金

農業近代化資金における「貸付状況報告書」は、オンライン農協(貸付部門が農協系統オンラインシステムに加入し、県がオンライン農協と指定した農業協同組合)以外の融資機関が貸付実行した場合、全ての融資機関が留保金又は分割貸付を実行した場合に利子補給承認書に基づき作成すること。

#### 1 留保金又は分割貸付以外に係るもの

##### (1) 新規貸付の場合

農業近代化資金を新たに貸付した場合の作成方法は次のとおりである。

##### ア 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関 コード	入	コ	制
	カ	区	度
	シ	シ	コ
	ド	ド	ド
	1	2	3
	4	5	6

融 資 機 関	名称		点 検 者	印
	電話		作 成 者	印

資金の種類等		県の承認状況										貸付コード等																				
資金 コード	災害コード 施設 コード	承認 関係 コード	承認日			承認 番号	支店 ・ 支 所	貸付コード																								
			年	月	日			個人コード	サブロ番																							
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39

貸付の内容															留保金の状況																																						
貸付日			貸付金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)		払出日			払出金額 (千円)	受入金額 (千円)																																							
年	月	日			初年	終年		毎回	最終回	年	月	日																																									
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93

融資機関が必ず記入する欄

##### イ 記入事項

##### a 帳票名

貸付状況報告書は農業近代化資金と農家経営安定資金とで同一の様式を使用することとなるので、農業近代化資金の貸付状況報告書を提出するときは、次の例により「農家経営安定資金」の文字を二本線で抹消すること。

「例」 農業近代化資金	貸付状況報告書
<del>農家経営安定資金</del>	」

b 融資機関コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関のコードを記入すること。

[例]

融資機関コード			
1	2	3	4
0	0	0	2

「新ふくしま農業協同組合」の場合

c 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「0」を記入すること。

d 制度コード

コード表の「制度コード」により「1」（農業近代化資金）を記入すること。

e 資金の種類等

① 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

② 施設コード

コード表の「施設コード」により該当するコードを記入すること。

③ 使途コード

コード表の「使途コード」により該当するコードを記入すること。  
 セット資金の場合はセット資金の内訳から金額の多いものを代表して記入すること。

[例]

資金の種類等							
資金コード	災害コード		施設コード	使途コード			
	7	8		9	10	11	12
1	1	1	1	1	0	3	
3	1	1	5	4	5	0	

→ 上段 農家経営安定資金欄

→ 下段 農業近代化資金欄

例1 一般 農業を営む者(その他の担い手)の花き温室の取得の場合

例2 認定農業者の特例(一般) 農業を営む者(認定農業者の特例)の乳牛購入の場合

f 県の承認状況

① 承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号

承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号については、県の承認機関のコード、当該機関が承認した年月日(年については和暦とする。)承認年度、承認番号を県からの「利子補給承認書」に記載のとおり記入すること。

なお、承認日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

また、承認番号は4桁とし、当該のない桁には「0」を記入すること。

[例]	県の承認状況												承認機関	県北農林事務所	} の場合
	承認 関係 コード	承認日									承認 年度	承認 番号	承認日	平成24年4月14日	
		年	月	日	承認 年度	承認 番号	承認年度	平成24年度							
		14	15	16	17	18	19	20	21	22			23	24	
1	2	4	0	4	1	4	2	4	1	0	0	1			

g 貸付コード等

① 支店・支所コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関の「支店・支所コード」を記入すること。

② 貸付コード

貸付コードは個人コード(8桁)とサブロ番(3桁)とに分けて融資機関が任意に設定し記入すること。  
 なお、個人コード、サブロ番の設定にあたっては、個人ごとに重複しないようにし、原則として次の点に注意すること。

・ 個人コード

個人コードは個人を特定するコードとし、貸付番号又は顧客番号等を参考として設定すること。

・ サブロ番

サブロ番は、当該貸付者に対する当該貸付を特定するコードとして設定すること。  
 ただし、オンライン農協は全桁「0」を記入すること。

[例]	貸付コード等												支店・支所	東邦銀行 国見支店	} の場合
	支店 コード 支所	貸付コード									貸付 番号	サブ ロ番	貸付番号	716543	
		個人コード								サブロ番			貸付番号	716543	
		27	28	29	30	31	32	33	34	35			36	37	
2	3	0	0	7	1	6	5	4	3	0	0	1			

h 貸付の内容

貸付の内容は、県からの「利子補給承認書」の内容に基づいて貸付実行したものを記入することになるが、実際の貸付が利子補給承認書の内容と異なることとなる場合には、前述の第2章第2の1の作成方法により「農業近代化資金利子補給変更承認申請書」を作成のうえ、県の承認機関に提出し承認を受けた後、貸付実行し、貸付状況報告書の作成を行うこととなるので注意すること。

① 貸付日

融資機関が貸付を実行した年月日(年については和暦とする。)を記入すること。

なお、貸付日は年、月、日、各々2桁計6桁であり、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

② 貸付金額

融資機関が貸付した金額を千円単位で記入すること。

なお、該当のない桁は空欄とすること。

③ 貸付利率





ア 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関コード					入力区分コード	制度コード
1	2	3	4	5	6	

融資機関	名称		点検者	印
	電話	( ) - ( ) - ( )	作成者	印

資金の種類等		県の承認状況										貸付コード等																				
資金コード	災害コード 施設コード 使途コード	承認日			承認年度	承認番号	支店・支所コード	貸付コード		個人コード								サブロ番														
		年	月	日				個人コード	サブロ番																							
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39

貸付の内容															留保金の状況										備考																												
貸付日			貸付金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)		払出日			払出金額 (千円)	受入金額 (千円)																																							
年	月	日			初年	終年		毎 回	最 終 回	年	月	日																																									
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
← (記入不要) →															← (記入不要) →																																						

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が変更しようとする項目のみを記入する欄

イ 記入事項

a 帳票名

貸付状況報告書は農業近代化資金と農家経営安定資金とで同一の様式を使用することとなるので、農業近代化資金の貸付状況報告書を提出するときは、次の例により「農家経営安定資金」の文字を二本線で抹消すること。

「例」 農業近代化資金 <div style="text-align: center;">貸付状況報告書</div> <div style="text-align: center;"><del>農家経営安定資金</del></div>
--

b 融資機関コード、制度コード、資金コード、施設コード、使途コード、承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号、支店・支所コード、貸付コード

新規貸付時に記入したコード等を記入すること。

c 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により、該当するコード「1」を記入すること。

d 貸付の内容

貸付変更の場合、この欄は変更しようとする項目のみを新規貸付の例に基づき、次の点に注意して記入すること。

なお、貸付日、貸付金額については、これらが貸付実行の根幹をなすものであり、当該変更を必要とするということは、その時点ですでに新たな資金の対応と考えられるため、当該手続きでの変更はできないものとし、後述の「(3)取消報告の場合」と前述「(1)新規報告の場合」の手続きをとることとなる。

- ① 1項目が変更されたことに伴い、他の項目も変更されることがある(例えば、償還期間の短縮変更に伴う約定償還額の変更等)ので、それらは一連の変更として記入すること。
- ② 償還期間、据置期間の変更については、変更申請日以後の償還期間、据置期間を記入すること。
- ③ 約定償還月が変更されない場合であっても償還期間が変更される場合には、「償還期間」欄と「約定償還月」欄とをセットで記入すること。

e 留保金の状況

空欄とすること。

(3) 貸付取消の場合

農業近代化資金を貸付した後に、当該貸付が利子補給対象外の貸付等であったため、当該貸付を取消する場合の作成方法は次のとおりである。

なお、貸付の取消については、前述の第2章第1の3の作成方法により「農業近代化資金利子補給変更申請書」を作成のうえ、県の承認機関に提出し承認を受けた後、貸付取消、貸付状況報告書(取消)の作成を行うこととなるので注意すること。

ア 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関 コード		入 カ 区 分 ド	制 度 コ ー ド
1	2	3	4
5	6		

融 資 機 関	名称		点 検 者	印
	電話	( )	作 成 者	印

資金の種類等		県の承認状況										貸付コード等																				
資金 コード	災害コード 施設 コード	用途 コード	承認 機関 コード	承認日			承認 年度	承認 番号	支店・ 支所 コード	貸付コード																						
				年	月	日				個人コード	サブロ番																					
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39

貸付の内容															留保金の状況										備 考																												
貸付日			貸付金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間		約定 償還 月	約定償還額 (千円)		払出日			払出金額 (千円)	受入金額 (千円)																																							
年	月	日			初年	終年		毎 回	最 終 回	年	月	日																																									
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
( 記 入 不 要 )																																																					

融資機関が必ず記入する欄

イ 記入事項

a 帳票名

貸付状況報告書は農業近代化資金と農家経営安定資金とで同一の様式を使用することとなるので、農業近代化資金の貸付状況報告書を提出するときは、次の例により「農家経営安定資金」の文字を二本線で抹消すること。

<p>「例」 農業近代化資金          貸付状況報告書  <del>農家経営安定資金</del></p>
--

b 融資機関コード、制度コード、資金コード、施設コード、使途コード、承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号、支店・支所コード、貸付コード

新規貸付時に記入したコードを記入すること。

c 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により、該当するコード「9」を記入すること。

d 貸付の内容、留保金の状況

貸付取消の場合、この欄は空欄とすること。

## 2 留保金の特例

融資機関(オンライン農協を含む。)が留保金の受入、払出又は分割貸付(以下「留保金の受入又は留保金の払出」という。)を行った場合は、貸付状況報告書を作成し報告しなければならない。

ただし、オンライン農協とその他の融資機関では作成の内容及び提出の方法が異なることに注意すること。

### (1) オンライン農協

#### ア 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関コード					入力区分コード	制度コード
1	2	3	4	5	6	

融資機関	名称		点検者	印
	電話		作成者	印

資金の種類等		県の承認状況										貸付コード等																										
資金コード	災害コード	施設コード	使途コード	承認機関コード	承認日			承認年度	承認番号	支店・支所コード	貸付コード																											
					年	月	日				個人コード									サブロ番																		
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39						
(記入不要)																																						

貸付の内容											留保金の状況				備考
貸付日			貸付金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)		払出日		払出金額 (千円)	受入金額 (千円)		
年	月	日			初年	終年		毎回	最終回	年	月			日	

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
(記入不要)																																																					

↓ 払出の際記入      受入の際記入

融資機関が必ず記入する欄	融資機関が該当する項目を記入する欄
--------------	-------------------

イ 記入事項

a 留保金を受入する場合

「融資機関コード」、「入力区分コード」及び「制度コード」をコード表により記入すること。  
 「支店・支所コード」、「貸付コード」及び「受入金額」(利子補給承認申請書に記載されている貸付金額と同額とする。)を記入すること。

b 留保金を払出する場合

留保金の受入金額の一部を払出した場合は「融資機関コード」、「入力区分コード」、「制度コード」、「支店・支所コード」、「貸付コード」及び「留保金の状況」欄の「払出日」、「払出金額」欄を記入すること。

c 報告書の提出時期

留保金の受入又は払出を行ったときは、その都度(遅くとも翌月の5日まで)貸付状況報告書を所轄の農林事務所に提出すること。

「例」	融資機関 コード	入力 区分 コード	制度 コード				
	1	2	3	4	5	6	
	新ふくしま農業協同組合 貸付番号 00123456 貸付金額 500万円						

0	0	2	0	1
---	---	---	---	---

貸付コード等												
支店・支所	貸付コード											
	個人コード										サブロ番	
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
0	1	0	0	1	2	3	4	5	6	0	0	0

受入と同時に150万円払出  
貸付月日 平成24年5月26日  
(受入)

の場合

留保金の状況																		
払出日			払出金額						受入金額									
年	月	日	(千円)						(千円)									
76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	
																5	0	0
2	4	0	5	2	6													

受入と払出は行を改めて記入すること。

ウ 留保金の受入金額に払出未済がある場合で、償還金が発生した場合

留保金に払出未済額がある間は償還が発生しないことが前提となっているため、払出未済額があるにもかかわらず特別償還、繰上償還が発生した場合は、払出未済額を全額払出を行った後に特別償還、繰上償還を行うこと。

エ 払出額を変更する場合

払出額を変更する場合は、変更前の払出額を取消し、変更後の払出額を入力すること。  
ウ、エについては、全ての融資機関について共通である。

(2) オンライン農協以外の場合

ア 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関 コード	入	カ	コ	制	
	区	区	区	度	
	分	分	分	分	
	ド	ド	ド	ド	
1	2	3	4	5	6

①

融 資 機 関	名称		点 検 者	印
	電話		作 成 者	印

資金の種類等				県の承認状況					貸付コード等																							
資 金 コ ー ド	災害コード			承 認 日	承 認 年 度	承 認 番 号	支 店 ・ 支 所	貸付コード																								
	施 設 コ ー ド	使 途 コ ー ド						年		月		日		個人コード		サブロ番																
	7	8	9	10	11	12		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37



②

③

(記入不要)																							
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

貸付の内容												留保金の状況												備考																													
貸付日			貸付金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)				払出日			払出金額 (千円)	受入金額 (千円)																																					
年	月	日			初年	終年		毎 回	最 終 回			年	月	日																																							
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
(記入不要)												(記入不要)																																									
②												③																																									

受入の場合 ①+②  
 払出の場合 ①+③

 融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目を記入する欄

イ 記入事項

a 留保金を受入する場合

通常の貸付状況報告書を作成の際に記入する欄のほか、「留保金の状況」欄の「受入金額」欄に受入金額(利子補給承認書に記載されている貸付金額と同額とする。)を記入すること。

b 留保金を払出する場合

留保金を払出した場合の記入事項は、オンライン農協の場合と同じである。

c 報告書の提出時期

留保金の受入又は払出を行ったときは、その都度(遅くても翌月の5日まで)貸付状況報告書を所轄の農林事務所に提出すること。

## 第2 農家経営安定資金

農家経営安定資金における「貸付状況報告書」は、オンライン農協(貸付部門が農協系統オンラインシステムに加入し、県がオンライン農協と指定した農業協同組合)以外の融資機関が貸付実行した場合に、利子補給承認書に基づき作成すること。

### 1 新規貸付の場合

農家経営安定資金を新たに貸付した場合の作成方法は次のとおりである。

#### (1) 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関コード					入 カ 区 分 ド	制 度 コ ー ド
1	2	3	4	5	6	

融 資 機 関	名称		点 検 者	印
	電話		作 成 者	印

資金の種類等		県の承認状況										貸付コード等																								
資 金 コ ー ド	災 害 コ ー ド	承 認 日	承 認 年 度	承 認 番 号	支 店 ・ 支 所	貸付コード		個人コード					サブロ番																							
						使 途 コ ー ド	年	月	日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33

貸付の内容														留保金の状況																																							
貸付日			貸付金額		貸付利率	償還期間		約定償還月	約定償還額					払出日			払出金額		受入金額																																		
			(千円)		(%)	初年 終年			(千円)								(千円)		(千円)																																		
年	月	日							毎 回		最 終 回			年	月	日																																					
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目を記入する欄

#### (2) 記入事項

##### ア 帳票名

貸付状況報告書は農業近代化資金と農家経営安定資金とで同一の様式を使用することとなるので、農家経営安定資金の貸付状況報告書を提出するときは、次の例により「農業近代化資金」の文字を二本線で抹消すること。

<p>「例」<del>農業近代化資金</del></p> <p style="margin-left: 150px;">農家経営安定資金</p> <p style="margin-left: 250px;">貸付状況報告書</p> <p style="text-align: right;">」</p>
---

イ 融資機関コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関のコードを記入すること。

[例]

融資機関コード			
1	2	3	4
0	9	5	0

「福島県酪農業協同組合」の場合

ウ 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「0」を記入すること。

エ 制度コード

コード表の「制度コード」により「2」（農家経営安定資金）を記入すること。

オ 資金の種類等

a 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

b 災害コード

小災害資金（資金コード「11」）の場合のみ、コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

[例]

資金の種類等					
資金コード	災害コード				
	施設コード	用途コード			
7	8	9	10	11	12
1	8				
1	1	1	5	0	6

例1 「中山間地域経営維持資金」の場合

例2 「平成15年6月下旬以降の低温・日照不足による被害（略称：15年6月低温等）」の場合

カ 県の承認状況

承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号については、県の承認機関のコード、当該機関が承認した年月日（年については和暦とする。）承認年度、承認番号を県からの「利子補給承認書」に記載のとおり記入すること。

なお、承認日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

また、承認番号は4桁とし、当該のない桁には「0」を記入すること。



[例]	県の承認状況													承認機関	県北農林事務所	} の場合
	承認 関係 コード	承認日									承認 年度	承認 番号	承認日	平成24年4月14日		
		年	月	日	承認 年度	承認 番号	承認年度	平成24年度								
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	承認番号	第1001号	

キ 貸付コード等

a 支店・支所コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関の「支店・支所コード」を記入すること。

b 貸付コード

貸付コードは個人コード(8桁)とサブロ番(3桁)とに分けて融資機関が任意に設定し記入すること。

なお、個人コード、サブロ番の設定にあたっては、個人ごとに重複しないようにし、原則として次の点に注意すること。

・ 個人コード

個人コードは個人を特定するコードとし、貸付番号又は顧客番号等を参考として設定すること。

・ サブロ番

サブロ番は、当該貸付者に対する当該貸付を特定するコードとして設定すること。  
ただし、オンライン農協は全桁「0」を記入すること。

[例]	貸付コード等													支店・支所	00	} の場合
	支店 コード 支所	貸付コード											貸付 番号	00529505		
		個人コード								サブロ番						
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39			

ク 貸付の内容

貸付の内容は、県からの「利子補給承認書」の内容に基づいて貸付実行したものを記入することになるが、実際の貸付が利子補給承認書の内容と異なることとなる場合には、前述の第2章第2の2の作成方法により「農家経営安定資金利子補給変更承認申請書」を作成のうえ、県の承認機関に提出し承認を受けた後、貸付実行し、貸付状況報告書の作成を行うこととなるので注意すること。

a 貸付日

融資機関が貸付を実行した年月日(年については和暦とする。)を記入すること。

なお、貸付日は年、月、日、各々2桁計6桁であり、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

b 貸付金額

融資機関が貸付した金額を千円単位で記入すること。

なお、該当のない桁は空欄とすること。

c 貸付利率



・貸付利率 ・償還期間 ・約定償還月 ・約定償還額

また、貸付内容の変更については、前述の第2章第2の2の作成方法により「農家経営安定資金利子補給変更承認申請書」を作成のうえ、県の承認機関に提出し承認を受けた後、融資機関の貸付条件の変更手続きを行い、その後に当該「貸付状況報告書(変更)」の作成を行うこととなるので注意すること。

(1) 記入欄の指定

平成 年 月 日

融資機関コード		ハカ区		制度コード	
1	2	3	4	5	6

融資機関	名称		点検者	印
	電話	( ) - ( ) - ( )	作成者	印

資金の種類等		県の承認状況										貸付コード等																				
資金コード	災害コード 施設コード 用途コード	承認機関コード	承認日			承認年度	承認番号	支店・支所コード	貸付コード																							
			年	月	日				個人コード					サブロ番																		
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39

貸付の内容															留保金の状況										備考																												
貸付日			貸付金額 (千円)	貸付利率 (%)	償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)										払出日			払出金額 (千円)	受入金額 (千円)																															
年	月	日			初年	終年		毎 回	最 終 回	年	月	日																																									
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93
(記入不要)															(記入不要)																																						

	融資機関が必ず記入する欄		融資機関が変更しようとする項目のみを記入する欄
	融資機関が該当する項目を記入する欄		

(2) 記入事項

ア 帳票名

貸付状況報告書は農業近代化資金と農家経営安定資金とで同一の様式を使用することとなるので、農家経営安定資金の貸付状況報告書を提出するときは、次の例により「農業近代化資金」の文字を二本線で抹消すること。

<del>「例」農業近代化資金</del> 農家経営安定資金	貸付状況報告書	」
-----------------------------------	---------	---

イ 融資機関コード、制度コード、資金コード、災害コード、承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号、支店・支所コード、貸付コード

新規貸付時に記入したコード等を記入すること。



年 月 日			(千円)										(%)										初年 終年		償還月	毎 回					最 終 回					年 月 日			(千円)										(千円)																																											
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93																																							
(記入不要)																																																																																												

融資機関が必ず記入する欄	融資機関が該当する項目を記入する欄
--------------	-------------------

(2) 記入事項

ア 帳票名

貸付状況報告書は農業近代化資金と農家経営安定資金とで同一の様式を使用することとなるので、農家経営安定資金の貸付状況報告書を提出するときは、次の例により「農業近代化資金」の文字を二本線で抹消すること。

「例」~~農業近代化資金~~ 貸付状況報告書  
 農家経営安定資金

イ 融資機関コード、制度コード、資金コード、災害コード、承認機関コード、承認日、承認年度、承認番号、支店・支所コード、貸付コード

新規貸付時に記入したコード等を記入すること。

ウ 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により、該当するコード「9」を記入すること。

エ 貸付の内容、留保金の状況

貸付取消の場合、この欄は空欄とすること。



貸付コード					貸付の相手方										借受者の概要																																																														
個人コード		サブロ番		個人法人コード	法人略称コード	氏名 (カタカナ)					業種コード	新規重複コード	経営形態コード	経営規模				所得		保有負債																																																									
														耕地等面積コード				飼養頭羽数	農業コード	農外	天災資金	その他																																																							
														畑	普通畑	果樹園	桑園						樹園地	その他	牧草地	山林																																																			
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103

貸付の内容																														
貸付日 年 月 日			貸付金額 (千円)		償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)																						
					初年	終年		毎回	最終回																					
58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目のみを記入する欄

出力印字されているため、融資機関は記入が不要な欄

(2) 記入事項

ア 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「0」を記入すること。  
ただし、オンライン農協は「1」を記入すること。

イ 地方コード、市町村コード

コード表の「地方コード」、「市町村コード」により次の区分で記入すること。

- 市町村コード…融資機関が契約に基づき利子補給を受けることとなる市町村のコードを記入すること。
- 地方コード……上記市町村を管轄する県の農林事務所のコードを記入すること。

[例]

地方コード	市町村コード		
2	3	4	5
1	2	0	1

「福島市」の場合

ウ 融資機関コード、支店・支所コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関の「融資機関コード」及び「支店・支所コード」を記入すること。  
ただし、オンライン農協の場合は、この欄は出力印字されているため、農協等は記入する必要がない。

[例]

融資機関 コード					支店 支所 コード	
6	7	8	9	10	11	
1	2	0	0	0	1	

「東邦銀行・東福島支店」の場合

エ 農林漁業コード

コード表の「農林漁業コード」により貸付先の主たる業務を記入すること。

オ 制度コード

コード表の「制度コード」により「3」(天災資金)を記入すること。

カ 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコード(「11」又は「12」)を記入すること。

なお、「補助」とは、天災による被害農林漁業者等に対する資金の融通に関する暫定措置法(以下「天災融資法」という。)第3条第1項第1号、第3号、第5号、第7号及び第9号に定める場合(融資機関に利子補給する市町村に対して県が補助する場合)をいう。

また、「経営資金」とは天災融資法第2条第4項に定める経営資金をいい、「事業資金」とは同条第8項に定める事業資金をいう。

キ 災害コード

コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

なお、当該コードは、既往の融資分のみであり、将来の災害に対しては災害が生じ資金の対応が決定された場合に県がその都度定めることになっているので、県の指示に従うこと。また、県がコード化する際の基本的な考え方は次のとおりである。

(災害コード)

2 4	0 4	4
}		∴
災害 発 生 年	災害 発 生 月	災害 の 種 類

・災害の種類区分(コードの右端の数字)は、次のとおり。

雪……………	1
霜……………	2
ひょう ……	3
風……………	4
雨……………	5
風雨…………	6
干ばつ…………	7
低温…………	8
地震…………	9
その他…………	0

[例]

災害 コード				
16	17	18	19	20
2	4	0	4	4

「平成24年4月の暴風」の場合



## ク 貸付利率

融資機関が貸付を行った制度上の貸付利率を年%で記入すること。

ただし、オンライン農協の場合はこの欄は出力印字されているため、実際の貸付利率と制度上の貸付利率とが同一の場合は記入をする必要がないが、異なる場合は出力印字された数字を二本線で抹消してその上部に制度上の貸付利率を記入すること。

なお、該当のない桁のうち「.」未満の部分については「0」を記入し、「.」以上の部分については空欄とすること。

<p>[例1]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td colspan="5" style="text-align: center;">貸付利率 (%)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">22</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">24</td><td style="text-align: center;">25</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table>	貸付利率 (%)					21	22	23	24	25	0	3	0	0	0	<p>「貸付利率」0. 3% の場合</p>	<p>[例2]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td colspan="5" style="text-align: center;">貸付利率 (%)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">22</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">24</td><td style="text-align: center;">25</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table>	貸付利率 (%)					21	22	23	24	25	0	7	5	0	0	0	3	5	0	0	<p>オンライン農協の実際の「貸付利率」0. 30%、 制度上の「貸付利率」0. 75%、 の場合</p>
貸付利率 (%)																																						
21	22	23	24	25																																		
0	3	0	0	0																																		
貸付利率 (%)																																						
21	22	23	24	25																																		
0	7	5	0	0																																		
0	3	5	0	0																																		

## ケ 貸付コード

貸付コードは個人コード(8桁)とサブロ番(3桁)とに分けて融資機関が任意に設定し記入すること。

ただし、オンライン農協の場合は、この欄は出力印字されているため記入する必要がない。

なお、個人コード、サブロ番の設定にあたっては個人ごとに重複しないようにし、原則として次の点に注意すること。

- ・ 個人コード
- ・ 個人コードは個人を特定するコードとし、貸付番号又は顧客番号等を参考として設定すること。
- ・ サブロ番
- ・ サブロ番は当該貸付を特定するコードとして設定すること。
- ・ ただし、オンライン農協等は全桁「0」を記入すること。

## コ 貸付の相手方

### a 個人・法人コード

コード表の「個人・法人コード」により貸付先の組織区分のコードを記入すること。

なお、「法人」とは、天災融資法第2条第4項第1号に基づき政令で定められるものをいい、「個人」とは、被害農林漁業者のうち法人以外のものをいう。

また、「農業協同組合」とは、天災融資法第2条第3項に定める被害組合(以下「被害組合」という。)にあたる農業協同組合をいう。

### b 法人略称コード

コード表の「法人略称コード」により個人、法人を問わず該当する略称コードがある場合に該当コードを記入すること。

なお、該当する略称コードがない場合には、空欄とすること。

### d 氏名(カタカナ)

借入者の氏名又は名称を「カタカナ文字」で記入すること。

なお、カタカナ文字で記入する場合は欄の左づめとし、濁点、半濁点は1桁とし、「氏」と「名」の間は1桁あけて記入すること。

また、オンライン農協にあっては、オンラインで使用している氏名及び名称(カタカナ文字)と同一(当該氏名又は名称が15文字を超える場合は15文字に限る。)となるようにすること。

### e 業種コード

コード表の「業種コード」により該当するコードを記入すること。

なお、「家畜等主業」、「果樹主業」、「漁船」及び「養殖」の意義は、天災融資法第2条第4項第1号に基づき、政令で定められる。

また、「一般農業」とは農業のうち「開拓」、「家畜等主業」、「果樹主業」以外のものをいい、「一般漁業」とは「漁業」のうち「漁具」、「漁船」及び「養殖」以外のものをいう。

#### f 新規・重複コード

コード表の「新規・重複コード」により、新規・重複の別を記入すること。

なお、「重複」とは、新たに天災融資法第2条第4項に定める被害農林漁業者又は被害組合に該当し天災資金の貸付を受けたものが、「天災融資法の適用に関する政令」施行日現在において既に貸付を受けていた天災資金の償還をまだ完了していない(延滞額は除く。)場合をいい、「新規」とは「重複」以外の場合をいう。

[例]

個人 法人 コード		法人 略称 コード		氏 名 (カタカナ)														業 種 コ ー ド	新 規 重 複 コ ー ド		
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	
1					コ	オ	リ			ア	キ	オ							1	1	0
2	4	1			シ	ノ	フ	カ	シ			ト	ク	ミ	ア	イ			1	4	1

→「個人」「一般農業」「新規」の場合

→「法人」「果樹主業」「重複」の場合

#### サ 貸付の内容

融資機関が貸付した貸付の内容を次のとおり記入すること。

ただし、オンライン農協の場合は、この欄は出力印字されているので記入する必要がない。

##### a 貸付日

融資機関が貸付した年月日(年については和暦とする。)を記入すること。

なお、貸付日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにする。

##### b 貸付金額

融資機関が貸付した金額を千円単位で記入すること。

なお、該当のない桁は空欄とすること。

##### c 償還期間

融資機関が貸付した際の償還期間を和暦で記入すること。

なお、この場合の償還期間とは約定による元金償還初年と終年をいい、据置期間は含めないこと。

また、貸付金額を据置期間終了後に一括償還する場合は、「初年」欄と「終年」欄に一括償還する年(和暦とする。)を記入すること。

##### d 約定償還月

約定による償還月を記入すること。

なお、該当のない桁には「0」を記入して2桁とすること。

##### e 約定償還額

約定による年償還額を「毎回」と「最終回」に分けて、次の償還額の算出方法により千円単位で記入すること。

- ・ 毎回償還額 = 貸付額 ÷ 償還回数 (千円未満切捨て)
- ・ 最終回償還額 = 貸付額 - { 毎回償還額 × (償還回数 - 1) }

なお、貸付金額を据置期間終了後に一括償還する場合は「毎回」欄に「0」(右づめ1桁)を記入の

うえ、「最終回」欄に貸付金額に相当する一括償還額を記入すること。

[例] 貸付の内容																															
貸付日			貸付金額							償還期間		約定償還月	約定償還額																		
年	月	日	(千円)							初年	終年		毎回							最終回											
58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	
2	4	0	3	0	3								2	5	0	0	2	4	3	0	0	5									

「貸付日」…平成24年3月3日  
 「貸付金額」…2,500千円  
 「償還期間」…初年 平成24年  
 終年 平成30年  
 「約定償還額」…毎回 357千円  
 最終回 358千円

の場合

### シ 借受者の概要

この欄については、借受者が個人(「個人・法人コード」における個人(「1」)のうち、すべての団体を除いたもの)の場合にのみについて全桁記入すること。

#### a 経営形態コード

コード表の「経営形態コード」により該当するコードを記入すること。

なお、この場合の「単一経営」とは農産物販売金額の1位部門の販売金額が総販売金額の6割以上を占めるものをいい、「複合経営」とは6割未満のものをいう。

#### b 耕地等面積コード

コード表の「耕地等面積コード」により耕地等の種類ごとに記入すること。

なお、この場合、自作地、小作地を問わず実際の経営に参与する耕地等の合計面積についてコード区分により記入すること。

#### c 飼養頭羽数コード

コード表の「家畜飼養頭羽数コード」により実際に飼養している家畜のうち主たる家畜の頭羽数等について該当するコードを記入すること。

なお、この場合の区分については次の点に注意すること。

- ・「乳用牛」、「肉用牛」の区分は目的主義によるため、搾乳を目的としている牛と将来搾乳牛に仕立てる目的で飼養している牛を乳用牛とし、乳用種であっても肉用目的に肥育しているものは肉用牛とすること。  
 ただし、搾乳の経験のある牛を肉用に肥育中のもの(例えば老廃牛の肥育)は乳用牛とすること。
- ・「乳用牛」の「成畜」、「子畜」の区分は、成畜＝2歳以上、子畜＝2歳未満をいう。
- ・「肥育豚」とは、自家で肥育し肉用として販売することを目的としている豚で、6か月未満のものうちもと豚として販売するものは含めないこと。
- ・「成鶏」とは、月齢が6か月以上の鶏をいう。したがって産卵があっても6か月未満は含めないこと。

#### d 所得

コード表の「金額コード」により借入する年度の所得見込金額について該当するコードを記入すること。

なお、この場合、当該農家の農業に係る所得はすべて農業所得に含めるが、農外所得については借受者が恒常的に一定の所得を期待できる場合のみ記入すること。

#### e 既有負債

コード表の「金額コード」により「天災融資法の適用に関する政令」施行日現在の既有負債の借入金残高について該当するコードを記入すること。

[例1]

「経営形態」… 稲作  
 「経営規模」… 田3.0ha  
                   畑0.4ha  
                   山林なし  
                   普通畑 0.4ha  
                   果樹園 なし  
                   桑園 なし  
                   その他 なし  
                   牧草地 なし  
 「家畜飼養頭羽数」… 肉用牛(成畜頭数)2頭  
 「所得」…………… 農業 8,740千円  
                           農外 0  
 「既有負債」… 天災資金 0  
                           その他 0  
                                   の場合

[例2]

「経営形態」… 果樹類  
 「経営規模」… 田0.5ha  
                   畑2.3ha  
                   山林なし  
                   普通畑 0.3ha  
                   果樹園 2.0ha  
                   桑園 なし  
                   その他 なし  
                   牧草地 なし  
 「家畜飼養頭羽数」… なし  
 「所得」…………… 農業 14,260千円  
                           農外 0  
 「既有負債」… 天災資金 450千円  
                           その他 0  
                                   の場合

借受者の概要															
経営形態コード	経営規模							所得				既有負債			
	耕地等面積コード							飼養頭羽数コード	農業	農外	天災資金	その他			
	田	畑			山林	牧草地	樹園地								
		普通畑	果樹園	桑園											
89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	
[例1]	0	1	8	1	0	0	0	0	0	2	1	7	0	0	0
[例2]	0	6	2	1	6	0	0	0	0	0	0	8	0	1	0

2 貸付変更の場合

天災資金を貸付した後に貸付内容に変更が生じた場合の作成方法は次のとおりである。  
 なお、当該手続きで変更報告が可能である項目は次のものに限定され、それ以外の項目の変更を必要とする場合には、後述の「3貸付取消の場合」と前述の「1新規貸付の場合」の手続を同時に行うことが必要となるので注意すること。

◇ 当該変更報告手続きで変更可能な項目

(ア) 貸付の相手方

- ・個人・法人コード ・法人略称コード ・氏名(カタカナ) ・業種コード ・新規・重複コード

(イ) 貸付の内容

- ・償還期間 ・約定償還月 ・約定償還額

(ウ) 借受者の概要

- ・経営形態コード ・経営規模 ・所得 ・既有負債

(1) 記入欄の指定

平成 年 月 日

入力区分コード	地方コード	市町村コード	融資機関コード	支店支所コード	農林漁業コード	制度コード	資金コード	災害コード	貸付利率(%)
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25					

市町村名											市町村長確認
融資名称											印
電話											作成者
											点検者

貸付コード		貸付の相手方										貸付の内容																																																		
個人コード	サブロ番	個人法人コード	法人略称コード	氏名 (カタカナ)										業種コード	新規重複コード	貸付日			貸付金額 (千円)		償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)																																						
				年	月	日	初年	終年	毎回	最終回																																																				
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
(変更項目のみ記入のこと)										(変更不可)										(変更項目のみ記入のこと)																																										

借受者の概要													備考	
経営形態コード	経営規模			所借	所有	貸付	農林漁業							その他
	耕地等面積コード	畑	樹園地				牧草地	山林	飼養頭羽数	農業	農外	天災資金	その他	
89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103
(変更項目のみ記入のこと)														

     融資機関が必ず記入する欄
      融資機関が変更しようとする項目のみを記入する欄

(2) 記入事項

ア 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により、該当するコード「1」を記入すること。

イ 地方コード、市町村コード、融資機関コード、支店・支所コード、農林漁業コード、制度コード、資金コード、災害コード、貸付利率、貸付コード

新規貸付時に記入したコードを記入すること。

ウ 貸付の相手方、貸付の内容、借受者の概要

貸付変更の場合、この欄は変更しようとする項目のみを新規貸付の例に基づき次の点に注意して記入すること。

なお、貸付日、貸付金額については、これらが貸付実行の根幹をなすものであり、当該変更を必要とするということは、その時点ですでに新たな資金の対応と考えられるため、当該手続きでの変更はできないものとし、後述の「3貸付取消の場合」と前述「1新規貸付の場合」の手続きをすることになる。

- a 1項目が変更されたことに伴い、他の項目も変更されることがある(例えば、償還期間の短縮変更に伴う約定償還額の変更等)ので、それらは一連の変更として記入すること。
- b 約定償還月が変更されない場合であっても償還期間が変更される場合には「償還期間」欄と「約定償還月」欄とをセットで記入すること。
- c 償還期間を変更する場合には、「初年」欄及び「終年」欄に変更時における「次回償還年」及び「最終回償還年」を記入すること。

エ 備考

貸付変更の場合、変更を必要とする理由を具体的に記入すること。

3 貸付取消の場合

天災資金を貸付した後、当該貸付が利子補給対象外の貸付等であったため、取消す場合の作成方法は次のとおりである。

(1) 記入欄の指定

平成 年 月 日

入力区分コード	地方コード	市町村コード	融資機関コード	支店支所コード	農林漁業コード	制度コード	資金コード	災害コード	貸付利率(%)	市町村名	市町村長確認	印												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
										融資機関	名称	電話	作成者	点検者										

貸付コード		貸付の相手方										貸付の内容																																																		
個人コード	サブロ番	個人法人コード	法人略称コード	氏名 (カタカナ)										業種コード	新規重複コード	貸付日			貸付金額 (千円)	償還期間		約定償還月	約定償還額 (千円)																																							
				年	月	日	初年	終年	毎回	最終回																																																				
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
(記入不要)																																																														

借受者の概要										備考				
経営形態	経営規模	所得	所有	負債	耕地等面積	畑	飼養	農業	天災		その他			
89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103
(記入不要)														

           融資機関が必ず記入する欄

(2) 記入事項

ア 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により、該当するコード「9」を記入すること。

イ 地方コード、市町村コード、融資機関コード、支店・支所コード、農林漁業コード、制度コード、資金コード、災害コード、貸付利率、貸付コード

新規貸付時に記入したコードを記入すること。

ウ 備考

貸付取消の場合、取消を必要とする理由を具体的に記入すること。

## 第4章 「制度資金特例移動報告書」

農業近代化資金、農家経営安定資金及び天災資金(以下「制度資金」という。)における「特例移動報告書」は、オンライン農協(貸付部門が農協系統オンラインシステムに加入し、県がオンライン農協と指定した農業協同組合)以外の融資機関が作成すること。

### 第1 新規報告の場合

制度資金を貸付した後に「電算処理要領」第1章の第5の(3)に定める償還のうち約定償還額を除く償還(内入償還、繰上償還、特別償還、全額償還、延滞償還)及び延滞発生があった場合(延滞発生があった月の月末までに当該延滞分の償還があった場合を除く。)の作成方法は次のとおりである。

#### 1 内入償還、繰上償還、特別償還、全額償還に伴う報告

##### (1) 記入欄の指定

平成 年 月 日

入力区分コード	制度コード	融資機関コード					支店・支所		市町村コード	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9

市町村名														
融資機関	名称													
	電話													
											作成者	⊕	点検者	⊕

承認年度	資金コード	災害コード	貸付コード		繰上償還等																												
			個人コード	サブロ番	特別移動コード	償還日			償還元金 (千円)																								
12	13	14	15	16		17	18	19		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43

特別移動コード	延滞発生		延滞償還				備考															
	延滞元金 (千円)	特別移動コード	償還日			償還元金 (千円)																
46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	
← (記入不要) →																						

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目を記入する欄

##### (2) 記入事項

###### ア 入力区分コード

コード表の「入力区分コード」により該当するコード「0」を記入すること。

###### イ 制度コード

コード表の「制度コード」により農業近代化資金の場合は「1」を、農家経営安定資金の場合は「2」を、天災資金の場合は「3」を記入すること。

#### ウ 融資機関コード、支店・支所コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関及び当該融資機関の「支店・支所コード」を記入すること。

[例]	融資機関コード						支店・支所	
	3	4	5	6	7	8		
	1	4	1	0	0	1		

「郡山信用金庫、本店」の場合

#### エ 市町村コード

農業近代化資金の場合は前述の第2章第1の1の(2)のウ「地方コード、市町村コード」を、農家経営安定資金の場合は第1章第2の1の(2)のウ「地方コード、市町村コード」を、天災資金の場合は第3章第3の1の(2)のイ「地方コード、市町村コード」の例により記入すること。

#### オ 承認年度

農業近代化資金及び農家経営安定資金について、県の承認機関が承認した際の承認年度(新規申請に伴う承認年度)を記入すること。  
 なお、天災資金については、この欄は空欄とすること。

#### カ 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

#### キ 災害コード

農家経営安定資金(1号資金の小災害資金のみ)及び天災資金について、コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

#### ク 貸付コード

貸付の際に特定したコードを記入すること。

#### ケ 繰上償還等

##### a 特例移動コード

コード表の「特例移動コード」により該当するコードを記入すること。

##### b 償還日

借入者が償還元金を償還した年月日(年については和暦とする。)を記入すること。  
 なお、償還日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

##### c 償還元金

借入者が償還した償還元金額を千円単位で記入すること。  
 なお、該当のない桁は空欄とすること。





(2) 記入事項

延滞発生に伴う記入事項は、内入償還等の例に基づき前述の2の(1)「記入欄の指定」により指定された項目を記入すること。

なお、この場合の内入償還等と異なる記入項目、記入内容は次のとおりである。

ア 繰上償還等

この欄は空欄とすること。

イ 延滞発生

a 特例移動コード

コード表の「特例移動コード」により該当するコード「10」を記入すること。

b 延滞元金

今回、延滞となった「約定償還額」又は「約定償還額－内入償還額」を千円単位で記入すること。  
 なお、該当のない桁は空欄とすること。

[例]

延滞発生						
特例移動コード	延滞元金					
	(千円)					
	46	47	48	49	50	51 52 53
	1	0			2	0 0

「特例移動区分」…延滞発生  
 「延滞元金」…200千円

} の場合

ウ 延滞償還

この欄は空欄とすること。

エ 備考

この欄は、今回報告の対象となった約定償還日、約定償還額及び今回の延滞発生分を含めた延滞元金累計額を記入すること。

[例]

備考	
「約定償還日」…平成24年3月20日	「約定償還日」…平成24年3月20日
「約定償還額」…200千円	「約定償還額」…200千円
「延滞累計額」…400千円	「延滞累計額」…400千円

「約定償還日」…平成24年3月20日  
 「約定償還額」…200千円  
 「延滞累計額」…400千円

〔 23.3.20 200千円 〕  
 〔 24.3.20 200千円 〕

} の場合

3 延滞償還に伴う報告

(1) 記入欄の指定

入力区分コード	制度コード	融資機関コード					支店・支所コード		市町村コード			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

市町村名											
融資機関	名称										
	電話								作成者	①	点検者

承認年度	資金コード	災害コード	貸付コード									繰上償還等															
			個人コード									サブロ番	特例移動コード	償還日			償還元金 (千円)										
			21	22	23	24	25	26	27	28	29			30	31	32		33	年	月	日	34	35	36	37	38	39
(記入不要)																											

延滞発生		延滞償還										備考									
特例移動コード	延滞元金 (千円)	特例移動コード	償還日			償還元金 (千円)															
			年	月	日																
46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67
(記入不要)																					

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目を記入する欄

(2) 記入事項

延滞償還に伴う記入事項は、内入償還等の例に基づき前述の3の(1)「記入欄の指定」により指定された項目を記入すること。

なお、この場合の内入償還等と異なる記入項目、記入内容は次のとおりである。

ア 繰上償還等、延滞発生

この欄は空欄とすること。

イ 延滞償還等

a 特例移動コード

コード表の「特例移動コード」により該当するコード「11」を記入すること。

b 償還日

借入者が延滞元金を償還した年月日を(年については和暦とする。)を記入すること。

なお、償還日は、年、月、日、各々2桁計6桁とし、年、月又は日が1桁の場合はその前に「0」をつけ、それぞれ2桁となるようにすること。

c 償還元金

借入者が償還した延滞元金額を千円単位で記入すること。

なお、該当のない桁は空欄とすること。

---

[例]	延滞償還																
	特例移動 コード	償還日						償還元金									
		年	月	日	(千円)												
		54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67		
	1	1	2	4	0	6	1	6							2	0	0

「特例移動区分」…延滞償還  
「償還日」…平成24年6月16日  
「償還元金」…200千円

} の場合

ウ 備考

この欄は、今回報告の対象となった約定償還日、約定償還額及び今回の延滞償還を除いた延滞元金累計額を記入すること。

[例]	備考													
	「約定償還日」…平成23年3月20日						「約定償還額」…200千円						「延滞累計額」…200千円	
	「約定償還日」…23.3.20						〔 24.3.20 200千円 〕						} の場合	
	「約定償還額」…200千円													
	「延滞累計額」…200千円													

第2 取消報告の場合

制度資金特例移動報告書の新規報告入力後に内容の誤りが発見され取消を必要とする場合の作成方法は、第1「新規報告の場合」と全く同様の方法によることとなるが、異なる点については次のとおりである。

ア 入力区分コード

削除報告の入力区分はすべて「9」を記入すること。

イ 備考

この欄は、各々、取消の理由を記入すること。

なお、新規報告の修正(取消を除く。)を必要とする場合には、上記取消報告の後に再度新規報告により修正することとなるので注意すること。

## 第5章 「制度資金不突合処理報告書」

「不突合処理報告書」は、オンライン農協が不突合リストに基づき不突合の原因等を調査し、関係機関と協議のうえ、不突合を解消すべく必要な処理(変更承認申請書・貸付状況報告書の提出、オンライン端末機からの修正入力等)をした結果を報告するために作成するものとし、その作成方法は次のとおりである。

### 1 記入欄の指定

#### (1) 農業近代化資金

平成 年 月 日

制度 コード	農林漁業 コード	地方 コード	市町村 コード	融資機関 コード
←記入不要		←記入不要		

融資機関	名称	点検者	㊦
	電話 ( ) -	作成者	㊧

資金 コード	災害コード	貸付利率 (%)	支店 支所 コード	貸付コード	不突合内容	不突合原因	処理内容
施設 コード	資金コード						

融資機関が必ず記入する欄

#### (2) 農家経営安定資金

平成 年 月 日

制度 コード	農林漁業 コード	地方 コード	市町村 コード	融資機関 コード

融資機関	名称	点検者	㊦
	電話 ( ) -	作成者	㊧

資金 コード	災害コード	貸付利率 (%)	支店 支所 コード	貸付コード	不突合内容	不突合原因	処理内容
施設 コード	資金コード						

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が該当する項目を記入する欄

#### (3) 天災資金

平成 年 月 日

制度 コード	農林漁業 コード	地方 コード	市町村 コード	融資機関 コード

融資機関	名称	点検者	㊦
	電話 ( ) -	作成者	㊧

資金 コード	災害コード	貸付利率 (%)	支店 支所 コード	貸付コード	不突合内容	不突合原因	処理内容
施設 コード	資金コード						

融資機関が必ず記入する欄

## 2 記入事項

「不突合処理報告書」は、制度コードから貸付コードまでの欄については「借受者別台帳」上の数値・コード等を記入し、不突合内容から処理内容までの欄については各々該当事項を具体的に記入すること。  
なお、各欄の記入方法は次のとおりである。

### (1) 制度コード

コード表の「制度コード」により農業近代化資金は「1」を、農家経営安定資金は「2」を、天災資金は「3」を記入すること。

### (2) 農林漁業コード

コード表の「農林漁業コード」により借入者の主たる業務を記入すること。

### (3) 地方コード、市町村コード

コード表の「地方コード」、「市町村コード」により次の区分で記入すること。

#### ・ 市町村コード

- ① 農業近代化資金…融資対象事業地を管轄する市町村のコードを記入すること。
- ② 農家経営安定資金…個人の場合は借入申込者の住所地の市町村、法人の場合は主たる事務所の所在する市町村のコードを記入すること。
- ③ 天災資金…融資機関が契約に基づき利子補給を受けることとなる市町村のコードを記入すること。

#### ・ 地方コード…上記市町村を管轄する農林事務所のコードを記入すること。

### (4) 融資機関コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関の「融資機関コード」を記入すること。

### (5) 資金コード(施設コード)

農家経営安定資金及び天災資金にあつては資金コード、農業近代化資金にあつては施設コードを記入すること。

#### ア 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

#### イ 施設コード

コード表の「施設コード」により個人施設、共同利用施設の別を記入すること。

### (6) 災害コード(資金コード)

農家経営安定資金及び天災資金にあつては災害コード、農業近代化資金にあつては資金コードを記入すること。

#### ア 災害コード

##### a 農家経営安定資金

小災害資金(資金コード「11」)の場合のみ、コード表の「災害コード」により、該当するコードを記入すること。

##### b 天災資金

コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

イ 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

(7) 貸付利率

融資機関が貸付を行った貸付利率(農業近代化資金又は農家経営安定資金にあつては実際の貸付利率、天災資金にあつては制度上の貸付利率)を年%で記入すること。

(8) 支店・支所コード

コード表の「融資機関コード」により、融資した融資機関の「支店・支所コード」を記入すること。

(9) 貸付コード

融資機関が設定した貸付番号(8桁)を記入すること。

(10) 不突合内容

県の利子補給マスターとオンライン農協のオンライン元帳とが不突合となっている内容を、不突合リスト等を参考に、具体的に記入すること。

(11) 不突合原因

県の利子補給マスターとオンライン農協のオンライン元帳との不突合の原因を具体的に記入すること。

(12) 処理内容

不突合の内容、原因を踏まえ、不突合解消のために融資機関がとった措置を具体的に記入すること。

[例]	不突合内容	不突合原因	処理内容
①	オンラインでは口座があるが県の利子補給マスターには該当する口座がない。	県の承認では、約定償還額が毎回55千円、最終回60千円であるが、毎回50千円、最終回100千円で実行したためエラーとなったが修正等の処理をしなかったため。	オンライン端末機から貸付実行を取消し、再度承認内容どおり貸付実行した。
②	貸付先名が、県の利子補給マスターではサトウメとなっているが、オンラインではサトウクニオである。	組合員がウメからクニオ(ウメの長男)に変わり債権債務関係も継承したが、県の承認を得なかったため。	利子補給変更承認申請書を提出した。

## 第6章 「制度資金不突合調査報告書」

「不突合調査報告書」は、オンライン農協以外の融資機関が突合せ用に出力した「借受者別台帳」及び「利子補給金計算明細書」の内容を、融資機関の借用証書及び貸付金元帳により、貸付条件、償還履歴、融資残高等について照合した結果を報告するために作成するものとし、その作成方法は次のとおりである。

### 1 記入欄の指定

#### (1) 農業近代化資金

平成 年 月 日

制度 コード	農林漁業 コード	地方 コード	市町村 コード	融資機関 コード										
← 記入不要 →		← 記入不要 →												

市町村名												市※ 町確 村認 長印		☐ 公印不要			
名称												作成者		◎	点検者		◎
電話 ( ) - -														◎			◎

承認状況	資金 コード	災害コード	貸付利率 (%)	支店 支所 コード	貸付コード	利子補給率 (%)		個人 法人 コード	貸付先名	法人 略称 コード	延滞状況				
						業種 コード	非営利 コード				期首残高	期首残高	期首残高	期末残高	
年度	番号	施設 コード	資金コード								期首残高	期首残高	期首残高	期末残高	
貸付年月日		期首状況			期中貸付額	期中償還状況				期末状況		償還計画			
		当初貸付額	融資残高	繰上償還残高		約定償還額	内入償還額	繰上償還額	特別償還額	全額償還額	融資残高	繰上償還残高	最終回の定償還期	初年一終年	償還月
不突合原因															

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が不突合のある項目を記入する欄

#### (2) 農家経営安定資金

平成 年 月 日

制度 コード	農林漁業 コード	地方 コード	市町村 コード	融資機関 コード										
← 記入不要 →		← 記入不要 →												

市町村名												市※ 町確 村認 長印		☐ 公印不要			
名称												作成者		◎	点検者		◎
電話 ( ) - -														◎			◎

承認状況	資金 コード	災害コード	貸付利率 (%)	支店 支所 コード	貸付コード	利子補給率 (%)		個人 法人 コード	貸付先名	法人 略称 コード	延滞状況				
						業種 コード	非営利 コード				期首残高	期首残高	期首残高	期末残高	
年度	番号	施設 コード	資金コード								期首残高	期首残高	期首残高	期末残高	
貸付年月日		期首状況			期中貸付額	期中償還状況				期末状況		償還計画			
		当初貸付額	融資残高	繰上償還残高		約定償還額	内入償還額	繰上償還額	特別償還額	全額償還額	融資残高	繰上償還残高	最終回の定償還期	初年一終年	償還月
不突合原因															

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が不突合のある項目を記入する欄

融資機関が該当する項目を記入する欄

#### (3) 天災資金

平成 年 月 日

制度 コード	農林漁業 コード	地方 コード	市町村 コード	融資機関 コード										
← 記入不要 →		← 記入不要 →												

市町村名												市※ 町確 村認 長印		☐ 公印不要			
名称												作成者		◎	点検者		◎
電話 ( ) - -														◎			◎

承認状況	資金 コード	災害コード	貸付利率 (%)	支店 支所 コード	貸付コード	利子補給率 (%)		個人 法人 コード	貸付先名	法人 略称 コード	延滞状況				
						業種 コード	非営利 コード				期首残高	期首残高	期首残高	期末残高	
年度	番号	施設 コード	資金コード								期首残高	期首残高	期首残高	期末残高	
貸付年月日		期首状況			期中貸付額	期中償還状況				期末状況		償還計画			
		当初貸付額	融資残高	繰上償還残高		約定償還額	内入償還額	繰上償還額	特別償還額	全額償還額	融資残高	繰上償還残高	最終回の定償還期	初年一終年	償還月
不突合原因															

融資機関が必ず記入する欄
  融資機関が不突合のある項目を記入する欄

融資機関が該当する項目を記入する欄



融資機関が必ず記入する欄	市町村が必ず記入する欄
融資機関が不突合のある項目を記入する欄	

## 2 記入事項

「不突合調査報告書」は、「借受者別台帳」上の数値・コード等を下段に記入し、不突合のある項目については正しい数値・コード等を上段に( )書きすること。

なお、各欄の記入方法は次のとおりである。

### (1) 制度コード

コード表の「制度コード」により農業近代化資金は「1」を、農家経営安定資金は「2」を、天災資金は「3」を記入すること。

### (2) 農林漁業コード

コード表の「農林漁業コード」により農家経営安定資金と天災資金にあつては貸付先の主たる業務を記入すること。

### (3) 地方コード、市町村コード

コード表の「地方コード」、「市町村コード」により次の区分で記入すること。

#### ・ 市町村コード

- ① 農業近代化資金…融資対象事業地を管轄する市町村のコードを記入すること。
- ② 農家経営安定資金…個人の場合は借入申込者の住所地の市町村、法人の場合は主たる事務所の所在する市町村のコードを記入すること。
- ③ 天災資金…融資機関が契約に基づき利子補給を受けることとなる市町村のコードを記入すること。

#### ・ 地方コード…上記市町村を管轄する農林事務所のコードを記入すること。

### (4) 融資機関コード

コード表の「融資機関コード」により融資した融資機関の「融資機関コード」を記入すること。

### (5) 承認状況

この欄は、農業近代化資金及び農家経営安定資金の場合のみ記入すること。

#### ア 年度

申請に基づき承認された際に付された承認年度(和暦とする。)を記入すること。

#### イ 番号

申請に基づき承認された際に付された承認番号(「利子補給承認書」又は「借受者別台帳」を参照)を記入すること。

### (6) 資金コード(施設コード)

農家経営安定資金及び天災資金にあつては資金コード、農業近代化資金にあつては施設コードを記入すること。

#### ア 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

イ 施設コード

コード表の「施設コード」により個人施設、共同利用施設の別を記入すること。

(7) 災害コード(資金コード)

農家経営安定資金及び天災資金にあつては災害コード、農業近代化資金にあつては資金コードを記入すること。

ア 災害コード

a 農家経営安定資金

小災害資金(資金コード「11」)の場合のみ、コード表の「災害コード」により、該当するコードを記入すること。

b 天災資金

コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

イ 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

(8) 貸付利率

融資機関が貸付を行った貸付利率(農業近代化資金又は農家経営安定資金にあつては実際の貸付利率、天災資金にあつては制度上の貸付利率)を年%で記入すること。

(9) 支店・支所コード

コード表の「融資機関コード」により、融資した融資機関の「支店・支所コード」を記入すること。

(10) 貸付コード

融資機関が設定した貸付番号(8桁)を記入すること。

(11) 利子補給率(業種コード、新規・重複コード)

農業近代化資金及び農家経営安定資金にあつては利子補給率、天災資金にあつては業種コード及び新規重複コードを記入すること。

ア 利子補給率

制度上定められている利子補給率を年%で記入すること。

イ 業種コード、新規・重複コード

a 業種コード

コード表の「業種コード」により該当するコードを記入すること。

b 新規重複コード

コード表の「新規・重複コード」により、新規、重複の別を記入すること。

(12) 個人・法人コード

コード表の「個人・法人コード」により該当するコードを記入すること。

(13) 貸付先名

借受者の氏名又は名称を「カタカナ文字」で記入すること。

(14) 法人略称コード

コード表の「法人略称コード」により該当する略称コードを記入すること。

(15) 貸付年月日

融資機関が貸付した年月日(年については和暦とする。)を記入すること。

(16) 期首状況

この欄は、期首における「当初貸付額」、「融資残高」及び「繰上償還残高」を次により記入すること。

ア 当初貸付額

融資機関が当初貸付した額を千円単位で記入すること。

イ 融資残高

期首の利子補給対象融資残高を千円単位で記入すること。

ウ 繰上償還残高

期首における繰上償還残高(前期中の内入償還又は繰上償還で今期に繰り越された残高)を千円単位で記入すること。

(17) 期中貸付額

融資機関が期中に貸付した金額を千円単位で記入すること。

(18) 期中償還状況

この欄は、期中における「約定償還額」、「内入償還額」、「繰上償還額」、「特別償還額」、「全額償還額」を次により記入すること。

ア 約定償還額

貸付契約上の償還計画に基づく約定償還額(期中発生延滞額を含む。)を千円単位で記入すること。

イ 内入償還額

「内入償還」された金額を千円単位で記入すること。

ウ 繰上償還額

「繰上償還」された金額を千円単位で記入すること。

エ 特別償還額

「特別償還」された金額を千円単位で記入すること。

オ 全額償還額

「全額償還」された金額を千円単位で記入すること。

(19) 期末状況

この欄は、今期末における「融資残高」、「繰上償還残高」を次により記入すること。

ア 融資残高

今期末の利子補給対象融資残高を千円単位で記入すること。

イ 繰上償還残高

期末における繰上償還残高(今期中の内入償還又は繰上償還で次期に繰り越される残高)を千円単位で記入すること。

(20) 延滞状況

この欄は、今期における延滞額の「期首残高」、「期中発生額」、「期中償還額」、「期末残高」を次により記入すること。

ア 期首残高

期首における累計延滞額を千円単位で記入すること。

イ 期中発生額

期中に新たに発生した延滞額を千円単位で記入すること。

ウ 期中償還額

期中の「延滞償還」された金額を千円単位で記入すること。

エ 期末残高

期末における累計延滞額(「期首残高」+「期中発生額」-「期中償還額」)を千円単位で記入すること。

(21) 償還計画

この欄は、貸付契約に基づき「毎回約定償還額」、「最終回約定償還額」、「初年-終年」、「償還月」を次により記入すること。

ア 毎回約定償還額及び最終回約定償還額

次の方法により毎回と最終回とに分けて算出された約定の年償還額を千円単位で記入すること。

- ・ 毎回約定償還額 = 貸付額 ÷ 償還回数  
(千円未満切捨て)
- ・ 最終回約定償還額 = 貸付額 - (毎回約定元金償還額 × (償還回数 - 1))  
なお、貸付金額を据置期間終了後に一括償還する場合は、毎回約定償還額に「0」(右づめ1桁)を記入のうえ最終回約定償還額に貸付額に相当する一括償還額を記入すること。

イ 初年-終年

借入契約における元金償還を開始する年(和暦とする。)及び終了する年(和暦とする。)を記入すること。  
なお、貸付金額を据置期間終了後に一括償還する場合は、初年・終年ともに一括償還する年(和暦とする。)を記入すること。

ウ 償還月

約定による償還月を記入すること。

(22) 不突合原因

「借受者別台帳」及び「利子補給金計算明細書」と融資機関の借用証書及び貸付金元帳とが不突合となった原因を具体的に記入すること。

- - - - -

## 第7章 「融資条件等管理入力票」

### 第1 農業近代化資金承認・融資条件管理入力票

「農業近代化資金承認・融資条件管理入力票」は、制度改正(利率改正含む)の都度県農業経済課金融共済室が作るものとし、その作成方法は次のとおりである。

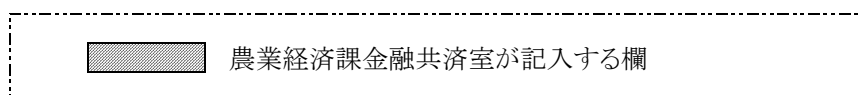
#### 1 記入欄の指定

#### 農業近代化資金承認・融資条件管理入力票

(平成 年 月 日承認分から適用)

政令コード	貸付利率	利子補給率		
	個人・共同	個人	共同	信連共同

- 注 1 上段は改正後の貸付利率等、下段は改正前の貸付利率等である。  
 2 アンダーライン部分に変更部分である。



#### 2 記入事項

##### (1) 政令コード

コード表の「政令コード」により該当するコードを記入すること。

##### (2) 貸付利率

農業近代化資金助成法第2条第3項第4号の規定に基づき、平成14年6月21日農林水産省告示第1182号(法第2条第3項第4号の規定に基づき、同号の農林水産大臣が定める利率を定める件)によるものとされているため、同改正告示によりその利率を記入すること。

##### (3) 利子補給率

福島県農業近代化資金利子補給要綱第2条の別表1の利子補給率を資金の種類毎に記入すること。

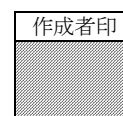
### 第2 農家経営安定資金承認・融資条件管理入力票

「農家経営安定資金承認・融資条件管理入力票」は、県農業経済課金融共済室が農家経営安定資金の利子補給の立ち年度当初又は制度改正(利率改正含む)若しくは災害発生の都度作成するものとし、その作成方法は次のとおりである。

#### 1 記入欄の指定

#### 農家経営安定資金承認・融資条件管理入力票

平成 年 月 日



年度	資金 コード	災害 コード	申請期間		実行期間		貸付 利率 (%)	利子 補給率 (%)	融 資 枠 (千円)															
			開始日	終了日	開始日	終了日			県計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	金融共済 室	水産 課						
										備考・連絡事項														
災 害 名										略称名														

農業経済課金融共済室が記入する欄
  農業経済課金融共済室が該当する項目を記入する欄

## 2 記入事項

### (1) 年度

承認年度を和暦で記入すること。

### (2) 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

### (3) 災害コード

資金コード「11」(小災害資金)の場合のみ、コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

### (4) 申請期間

県が定めた融資期間の利子補給承認申請期間を和暦で記入すること。

### (5) 実行期間

県が定めた融資期間の貸付実行期間を和暦で記入すること。

### (6) 貸付利率

制度上の貸付利率を年%で記入すること。

### (7) 利子補給率

制度上の県の利子補給率を年%で記入すること。

### (8) 融資枠

当該資金の承認機関別融資枠を千円単位で記入すること。  
 なお、当該資金が各承認機関別に枠の配分を行わないものである場合は「県計」のみにその総枠を記入すること。

### (9) 災害名、略称名

資金コード「11」(小災害資金)の場合のみ、災害名(原則として40文字以内)及びその略称名(原則として13文字以内)を記入すること。

### (10) 備考、連絡事項

連絡事項等がある場合に記入すること。

## 第3 天災資金融資条件管理入力票

「天災資金融資条件管理入力票」は、県農業経済課金融共済室が天災資金の制度改正又は災害発生の都度作成し、その作成方法は次のとおりである。

1 記入欄の指定

天災資金融資条件管理入力票

平成 年 月 日

災害コード	災 害 名	略称名	作成者印

No.	資金 コード	貸付 利率	農林 漁業 コード	実行期間		利子補給率			補助率		融 資 枠 (千円)								
				開始日	終了日	市町村	県	国	県	国	県計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	金融共済 室
		%				%	%	%	%	%									

No.	業種 コード	新規 重複 コード	限度額(千円)		償還 期間
			個 人	法 人	

農業経済課金融共済室が記入する欄

2 記入事項

(1) 災害コード

コード表の「災害コード」により該当するコードを記入すること。

(2) 災害名、略称名

災害名(原則として40文字以内)及びその略称名(原則として13文字以内)を記入すること。

(3) No.

1ラインごとに通し番号を記入すること。

(4) 資金コード

コード表の「資金コード」により該当するコードを記入すること。

(5) 貸付利率

制度上の貸付利率を年%で記入すること。

(6) 農林漁業コード

コード表の「農林漁業コード」により該当するコードを記入すること。

(7) 実行期間

県が定めた融資期間の貸付実行期間を和暦で記入すること。

(8) 利子補給率

制度上の市町村、県、国の利子補給率をそれぞれ年%で記入すること。

(9)補助率

利子補給率(資金コードが「11」、「12」の場合は市町村の利子補給額、資金コードが「21」、「22」の場合は県の利子補給額)に対する県、国の制度上の補助率をそれぞれ%で記入すること。

(10) 融資枠

当該資金の農林事務所別融資枠を千円単位で記入すること。  
なお、「県計」の欄には国から配分された県の融資枠を、「農業経済課金融共済室」の欄には県計と農林事務所枠との差額を記入すること。

(11) 業種

コード表の「業種コード」により該当するコードを記入すること。

(12) 新規・重複

コード表の「新規・重複コード」により該当するコードを記入すること。

(13) 限度額

当該資金の制度上の借受者別の貸付限度額を個人・法人別に千円単位で記入すること。

(14) 償還期間

当該資金の制度上の「貸付利率別償還期限」を年(和暦とする。)で記入すること。

- - - - -



## 第8章 「制度資金利子補給金等交付指令入力票」

「制度資金利子補給金等交付指令入力票」は、県農業経済課金融共済室が農業近代化資金、農家経営安定資金、天災資金の利子補給金等の交付にあたって作成するものとし、その作成方法は次のとおりである。

### 第1 記入欄の指定

#### 制度資金利子補給金等交付指令入力票

平成 年 月 日

作成者印

制度資金名	交付指令年月日	交付指令番号 (4桁)
	年 月 日	
	年 月 日	

	農業経済課金融共済室が記入する欄
--	------------------

### 第2 記入事項

#### 1 制度資金名

制度資金の名称(農業近代化資金、農家経営安定資金、天災資金)を記入すること。

#### 2 交付指令年月日

利子補給金又は利子補給費補助金の交付指令を発する年月日(年については和暦とする。)を記入すること。

#### 3 交付指令番号

県農業経済課金融共済室の交付指令番号を記入すること。

## 第9章 「マスター項目修正入力票」

### 第1 制度資金マスター項目修正入力票

農業近代化資金、農家経営安定資金又は天災資金の「マスター項目修正入力票」は、県農業経済課金融共済室が関の「制度資金不突合調査報告書」等に基づき作成するものとし、その作成方法は次のとおりである。

#### 1 修正入力票の区分

修正入力票は修正すべき項目に応じて次の修正入力区分一覧表による修正パターンに区分し作成する。

#### ◇ 修正入力区分一覧表 ◇

修正項目	修正パターン	修正項番	修正桁数
施設コードor農林漁業コード	No.1	01	2
資金コード	〃	02	2
政令コード	〃	03	2
使途コード } or災害コード	〃	04	3
地方コードand承認機関コード	〃	05	2
市町村コード	〃	06	3
承認年月日(西暦)	〃	07	8
承認金額(単位千円)	〃	08	7
貸付利率(割分厘毛糸)	〃	09	5
県利子補給率(分厘毛糸忽)	〃	10	5
貸付実行期限(西暦)	〃	11	8
実行取引日(〃)	〃	12	8
実行起算日(〃)	〃	13	8
当初貸付額(単位千円)	〃	14	7
留保金残高(〃)	〃	15	7
初回償還日(西暦)	〃	16	8
最終償還日(〃)	〃	17	8
残償還回数	〃	18	2
次回償還日(西暦)	〃	19	8
均等償還額(単位千円)	〃	20	7
最終償還額(〃)	〃	21	7
当年期首融資残高(〃)	〃	22	7
期首融資残高(〃)	〃	23	7
期首繰償残高(〃)	〃	24	7
期首延滞残高(〃)	〃	25	7
期末融資残高(〃)	〃	26	7
期末繰償残高(〃)	〃	27	7
期末延滞残高(〃)	〃	28	7
期中延滞発生額(〃)	〃	29	7
経営形態コード	〃	40	2
耕地等面積コード(田～山林)	〃	41	7
飼養頭羽数コード	〃	42	2
収支コード(収入and支出)	〃	43	7
負債コード	〃	44	5
法人略称コード	〃	46	2
業種コード	〃	47	2
新規重複コードand個人・法人コード	〃	48	2
市町村利子補給率(分厘毛糸忽)	〃	49	5
保証割合(%)	〃	50	3
保証料率(割分厘毛糸)	〃	51	5
財源コード	〃	52	2
補助金and限度特認and融資対象部門	〃	53	3
融資対象数量(頭羽㎡台)	〃	54	7
条件変更承認日(西暦)	〃	60	8
県単上乘せ区分コード	〃	71	2
県単上乘せ期間	〃	72	2
県単上乘せ率	〃	73	5
組合員コード	〃	74	7
年間履歴	No.2	30～39	
〔取引区分コード		(償還、留保金	2
〕取引日(西暦)		受入、払出履歴)	8



- 貸付利率 年1.7%の場合 

0	1	7	0	0
---	---	---	---	---
- 県利子補給率 年1.25%の場合 

1	2	5	0	0
---	---	---	---	---

 (分厘毛糸忽)
- 市町村利子補給率 年2.0%の場合 

2	0	0	0	0
---	---	---	---	---

 (分厘毛糸忽)
- 保証料率 年0.29%の場合 

0	0	2	9	0
---	---	---	---	---

 (割分厘毛糸)
- 保証割合 90%の場合 

0	9	0
---	---	---

 (割分)

⑤ 耕地等面積コード、収支コード、負債コードの記入は次によること。

- 耕地等面積コード
 

田	2.5ha
普通畑	1.3ha
果樹園	なし
桑園	なし
その他	なし
牧草地	なし
山林	4.0ha

 の場合
 

耕地等面積					
	普	果	桑	そ	牧
田	通	樹	園	他	草
	畑	園	園	地	地
107	108	109	110	111	112
113					
7	4	0	0	0	8

- 収支コード
 

収入	
農業	4,600千円
農外	1,200千円
その他	0
支出	
農業	1,390千円
農外	300千円
家計費	3,000千円
その他	0

 の場合
 

収入			支出		
農	農	そ	農	農	そ
業	外	の	業	家	の
外	業	他	外	計	計
業	外	他	業	外	他
116	117	118	119	120	121
122					
6	3	0	3	1	6
0					

- 負債コード
 

農林公庫資金残高	2,380千円
制度資金残高	1,200千円
プロパー資金残高	630千円
購買未収金残高	120千円
その他	0

 の場合
 

既有負債の状況				
農	制	プ	購	そ
林	度	ロ	買	の
公	資	パ	未	他
庫	金	ー	収	
資	金	資	金	
金		金		
123	124	125	126	127
5	3	2	1	0



取引区分		コード
留保金払出		51
内入償還		52
延滞償還	延滞償還	54
	延滞指定償還	55
約定償還		56
全額償還		57
繰上償還		58
特別償還	最終回償還額以上のもの	59
	最終回償還額未満のもの	60

d 取引日～金額

修正すべきデータを記入すること。  
 なお、年月日の年は西暦で記入し、月日は2桁とし、空欄は「0」（5月7日のときは「0507」）を記入すること。  
 金額は7桁の最終桁が千円単位となるよう記入し、空欄は「0」を記入すること。  
 （80千円の場合「0000080」）

[記入例]

制度資金マスター項目修正入力票 (No. 2)

融資機関 コード	支店 コード	貸付コード		承認年度	承認番号	制度 コード	修正 項目 番号	年							月							金額 (千円)																					
		個人 コード	サブ 番号					取引 区分 コード							算 日 金																												
								年	月	日	年	月	日	年	月	日																											
00	00	20	10	03	04	7	04	0	2	0	2	1	0	0	3	2	3	0	5	2	0	0	4	0	4	0	9	2	0	0	4	0	4	0	5	0	0	0	0	8	0		

(1回目内入償還取引の場合)  
 (4回目繰上償還取引の場合)  
 (8回目全額償還取引の場合)

(3) 修正パターンNo.3の場合

ア 記入欄の指定

融資機関 コード	支店 コード	貸付コード		承認年度	承認番号	制度 コード	修正 項目 番号	氏名(カタカナ)							※ セット資金内訳																																								
		個人 コード	サブ 番号					融 資 対 象 部 数							貸付予定額																																								
								年	月	日	年	月	日	年	月	日																																							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48								

農業経済課金融共済室が必ず記入する欄

イ 記入事項

a 融資機関コード～制度コード

すでにマスターに登録されているデータを前述の第2章、第3章、第4章に準じて(「承認年度」については西暦とする。)記入すること。  
 なお、当該データが同一で「貸付先氏名(カタカナ)」と「セット資金内訳」の同時修正がある場合は、この欄の記入を省略し「↓」と記入すること。

b 修正項番







